



SUSTAINABILITY  
REPORT

2024

# 新しい世界に挑戦していきます



兵庫県加西市 テクニカルセンター

## 編集方針

### 報告対象範囲

原則として、カネミツグループ（株式会社カネミツと全てのグループ会社）を対象としております。

### 報告対象期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しております。

### 発行時期

2024年6月

## お問い合わせ先

株式会社カネミツ サステナビリティ委員会（経営企画部）  
〒673-0874  
兵庫県明石市大蔵本町20-26  
☎078-919-2347

### 免責事項

本サステナビリティレポートには、将来の業績の見通しに関する計画や経営戦略などの記述が含まれております。これらは現在入手可能な情報から得られた予想に基づいております。今後、社会・経済状況の変化などの影響により、実際の業績とは異なる結果となる場合があることをご了承いただきますようお願い申し上げます。

編集方針 ..... 01  
 目次 ..... 02  
 トップコミットメント ..... 03  
 ステークホルダーエンゲージメント ..... 08  
 サステナビリティマネジメント ..... 09  
 マテリアリティ ..... 11  
 SDGsの取り組み ..... 12  
 カーボンニュートラル ..... 13



**企業情報**

企業情報 ..... 05  
 沿革 ..... 07  
 非財務情報 ..... 15  
 中期経営計画 ..... 16  
 トピックス ..... 17  
 社外取締役のメッセージ ..... 19

**環境**

製品の環境への取り組み ..... 21  
 品質向上 ..... 24  
 環境への取り組み ..... 25  
 エネルギー管理委員会 ..... 27  
 グループ会社の取り組み ..... 29  
 CSR活動実績 ..... 32

**社会**

人的資本経営 ..... 33  
 ダイバーシティ ..... 34  
 評価 ..... 36  
 採用活動 ..... 37  
 キャリア形成の制度・研修制度 ..... 38  
 制度・働き方 ..... 39  
 女性活躍 ..... 44  
 人事データ ..... 45  
 地域社会への取り組み ..... 46  
 安全衛生 ..... 49

**ガバナンス**

コーポレートガバナンス ..... 50  
 企業行動憲章 ..... 52  
 従業員行動規範とCSR ..... 53  
 情報セキュリティ基本方針 ..... 54



カーボンニュートラルを念頭に  
“変革”と“挑戦”をテーマとして事業活動を進めていきます

代表取締役社長 金光俊明

# トップコミットメント

## 経営理念

カネミツは技術を尊び技術でOnly – Oneを目指す  
カネミツはOnly – One技術で安全と環境に貢献する

まずは始めに、元旦に発生しました令和6年能登半島地震で被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第9次中期経営計画では、「新しい世界に挑戦していきます」というスローガンのもと、カーボンニュートラルならびに社会的課題への解決を進めております。その実現に向け、2023年度は、カーボンニュートラルへの取り組みを常に念頭においた活動を展開してきました。

### カーボンニュートラルへの取り組み

再生可能エネルギーの活用においては、2023年7月に太陽光発電パネルを加西第5工場屋根に設置しました。また、2023年4月に「エネルギー管理委員会」を立上げ、全拠点での省エネルギー化への見直しなど、カーボンニュートラルへの取り組みを進めております。

製造業である当社は、カーボンニュートラルに向けた取り組みの最優先は製造過程です。当社が製造する製品におけるスクラップの考え方を見直し、また製造に使用する電気、加工油、ガスなどについても現状を分析し、対策を講じております。

### 社会的課題への取り組み

社会的課題では、社員一人ひとりの価値を最大限に引き出すためにはどうすればよいか、人的資本経営の討議を行うプロジェクトを立上げ、活動をスタートさせました。サステナビリティ方針に基づき、ソフト、ハードの両面から、人材である「ヒト」が活躍できる工夫を行ってまいります。

ダイバーシティ経営では、年齢・性別・国籍に関わらず働ける環境を整備できるよう改善活動を継続しております。

情報社会においてセキュリティ対策は必須です。サイバー攻撃には個々のセキュリティ意識を高めることが重要であり、各種セキュリティ対策と併せて社員の意識向上への取り組みを行っております。

### これからの想い

当社は、2024年5月9日に開示しました通り、連結売上高110億円と過去最高の売上高を更新しました。今後も成長し続ける企業を目指し、事業展開していきます。

また、2022年10月に設立した株式会社キーネクストは、2023年7月より生産を開始し、順調に生産実績を積み重ねています。今後も受注拡大、顧客拡大を目指してまいります。

原材料価格の高騰や物流問題など、世の中の流れを受けて事業環境が大きく変化しております。自動車業界が100年に一度の変革期と言われる中、変化をチャンスと捉え、当社独自の技術を活用し、更なる成長を目指して様々な取り組みを行っていく所存です。

ステークホルダーの皆様とともに、サステナブル経営を推進し、持続可能な世界の実現に貢献してまいりたいと思います。



# 企業情報(2024年3月31日現在)

## 株式会社カネミツ

創業 : 1947年1月10日  
 資本金 : 556,073,892円  
 事業内容 : 自動車・農機用プーリ、自動車用トランスミッション部品等の開発、製造および販売  
 従業員数 : 229名[単体] 596名[連結]

明石本社



明石本社 : 兵庫県明石市大蔵本町20-26  
 加西工場 : 兵庫県加西市網引町丸山2001-33 (加西南産業団地内)  
 テクニカルセンター : 兵庫県加西市網引町丸山2001-4 (加西南産業団地内)  
 三木工場 : 兵庫県三木市別所町巴48-1 (三木工場公園内)  
 長崎工場 : 長崎県長崎市北浦町2885-1  
 リサーチセンター : 長崎県長崎市北浦町2885-1  
 中部営業所 : 愛知県刈谷市桜町1-50-1 八城ビル2階

三木工場



加西第1工場



加西第2工場



加西第3工場



加西第4工場 (松本精工株式会社)



加西第5工場 (株式会社キーネクスト)



テクニカルセンター



長崎第1工場



長崎第2工場



リサーチセンター



# 企業情報(2024年3月31日現在)

## カネミツグループ



### 松本精工株式会社

設立：1989年2月28日  
 資本金：1,000万円  
 株主構成：(株)カネミツ (100%)  
 事業内容：自動車用電装部品等の製造販売  
 所在地：〒675-0332 兵庫県加古川市志方町横大路647

### 株式会社津村製作所

設立：1948年5月11日  
 資本金：3,600万円  
 株主構成：(株)カネミツ (100%)  
 事業内容：紙管口金、道路安全資材関連部品、鋼製家具部品、その他金属プレス加工品の製造販売  
 所在地：〒547-0002 大阪府大阪市平野区加美東5-6-25

### 株式会社キーネクスト

設立：2022年10月20日  
 資本金：6,000万円  
 株主構成：(株)カネミツ (50%) (有)米澤工作所 (50%)  
 事業内容：自動車用電装部品・産業用機器部品の製造販売  
 本社所在地：〒673-0874 兵庫県明石市大蔵本町20-26 (株式会社カネミツ本社内)  
 工場所在地：〒675-2113 兵庫県加西市網引町丸山2001-33 (株式会社カネミツ 加西工場内)

### KANEMITSU PULLEY CO., LTD.

設立：1999年11月17日  
 資本金：9,000万バーツ  
 株主構成：(株)カネミツ (95%) バンドー化学(株) (5%)  
 事業内容：自動車用プーリー、金属加工品および金型・治具の製造販売  
 所在地：Eastern Seaboard Industrial Estate 64/23 Moo4, Thambol Pluakdaeng, Amphur Pluakdaeng, Rayong, 21140 THAILAND  
 タイランドテクニカルセンター所在地：KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 内

### 佛山金光汽車零部件有限公司

設立：2006年4月5日  
 資本金：483万米ドル  
 株主構成：(株)カネミツ (85.5%) KANEMITSU PULLEY CO., LTD. (14.5%)  
 事業内容：自動車用プーリー、金属加工品および金型・治具の製造販売  
 所在地：中華人民共和国広東省佛山市禅城区経済開発区吉利工業園新源2路45号

### PT. KANEMITSU SGS INDONESIA

設立：2014年10月15日  
 資本金：420万米ドル  
 株主構成：(株)カネミツ (51%) PT. SETIA GUNA SEJATI (49%)  
 事業内容：自動車用プーリー、金属加工品および金型・治具の製造販売  
 所在地：Kawasan Industri Jababeka II, Jl. Industri Selatan Blok KK No. 3M, Desa Pasirsari, Kec. Cikarang Selatan, Kabupaten Bekasi Jawa Barat Indonesia

# 沿革

(株式会社カネミツ)

## 1947年 合資会社金光銅工熔接所創業



- 1947 明石港で船舶の修理溶接業を開始
- 1949 大阪郵政局の「区分かご（ジュラルミン本体にアルミを使用）」を受注
- 1952 前田金属工業(株)の「トネ印工具箱」製作開始
- 1955 三菱重工業(株)京都製作所「かつら工具箱」およびジープと発動機の板金部品の製作開始

1947

## 「回転成形法」を発明



- 1960 回転成形法による「Vプーリ」開発
- 1962 ヤマト消火器および岩谷産業向け「ボンベ」製作開始
- 1964 東洋工業（現マツダ）のファミリア用「Vプーリ」を回転成形法により製作開始

1957

## 情報を鋭くキャッチ、他社に先駆け「特許権」を取得



- 1967 久保田鉄工（現クボタ）向けプーリ製作開始
- 1968 ヤンマー農機、佐藤造機、井関農機向けプーリ製作開始
- 1969 ダイハツ工業、日立製作所向けプーリ製作開始
- 1975 ポリVプーリの開発に着手、その製法で特許権取得

1967

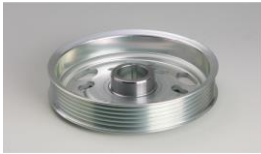
## 企業存続の危機を、さらなる「飛躍のバネ」にして



- 1981 ポリVプーリがトヨタセリカで採用され製作開始
- 1983 ポリVプーリが日産自動車、マツダ向けなどで製作開始

1977

## 「町工場」からの変革



- 1988 リングプロジェクション溶接法により「ボス接合プーリ」を開発
- 1992 一枚鋼板からボス部を有する「ボス一体プーリ」を開発
- 1995 阪神淡路大震災の被災経験を基に防災危機マニュアルを整備

1987

## 「海外展開」のスタート



- 1998 「トランスミッション部品」を開発、ISO9001認証取得
- 1999 KANEMITSU PULLEY CO.,LTD. 設立
- 2001 「インフレーター（エアバッグ部品）」開発
- 2003 ISO14001認証取得
- 2005 「スプロケット」、「EPS部品」製作開始、大阪証券取引所市場第二部に株式上場
- 2006 佛山金光汽車零部件有限公司設立

1997

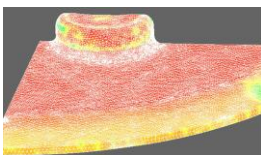
## 「新たな事業分野」への挑戦



- 2007 タイ子会社内にKANEMITSU THAILAND TECHNICAL CENTERを設置
- 2014 PT. KANEMITSU SGS INDONESIA設立
- 2015 長崎県長崎市にリサーチセンターと長崎工場を竣工  
バーチャルシミュレーション設計（KAVS）導入

2007

## 独創技術で描く、「ものづくり」の夢に向かって



- 2018 松本精工株式会社を子会社化
- 2020 株式会社津村製作所を子会社化
- 2022 合併会社株式会社キーネクスト設立

2017

※KAVS : Kanemitsu Analyze Virtual Simulation



# ステークホルダー・エンゲージメント

(株式会社カネミツ)

## ステークホルダー・エンゲージメントの考え方

当社は、全てのステークホルダーとより良い信頼関係を構築し、社会および企業の持続的な発展を追求していきます。

### お客様

- 公式ウェブサイト（随時）  
会社情報  
IR情報の発信  
問い合わせ窓口の設置
- お客様問い合わせ窓口/ウェブサイト（随時）  
電話およびメールフォームでのご意見対応

### 株主様

- IR問い合わせ窓口（随時）
- 株主総会（1回/年）
- IR説明会（随時）
- IR情報/ウェブサイト（随時）
- IRメール配信（随時）  
相互理解の促進  
より良い関係の構築
- 株主通信の発行（1回/年）
- Instagramの発信

### 協力会社様

- 製品・購買に関する問い合わせ窓口  
ウェブサイト（随時）

### 地域社会

- 植栽活動（3回/年）、長崎清掃活動（随時）
- あかしSDGsパートナーズへの参加
- 工場見学（随時）
- Instagramの発信

### 従業員

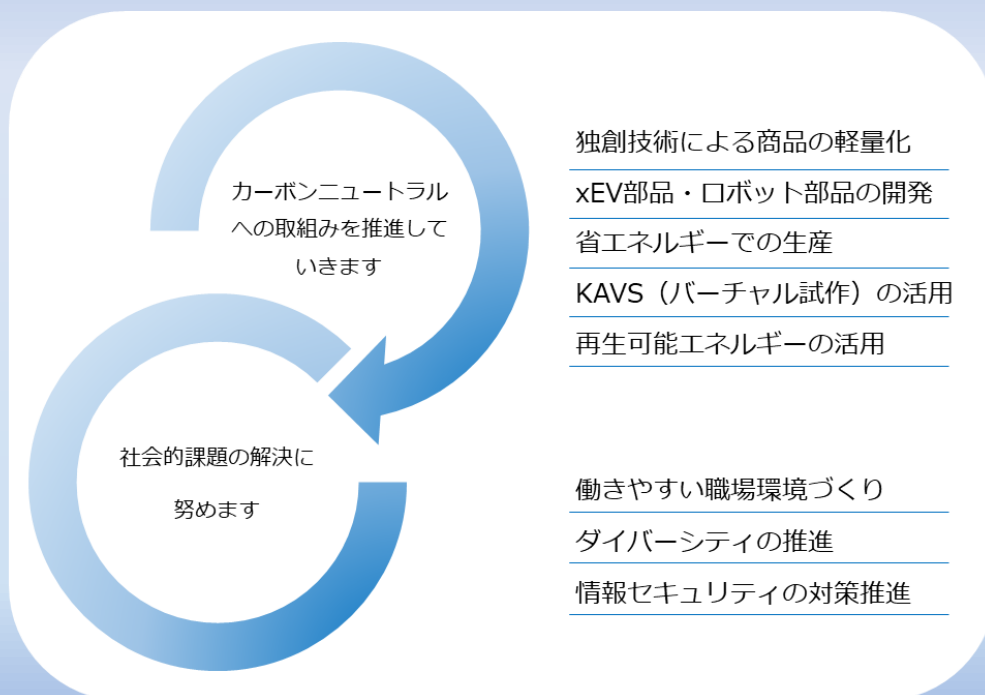
- 社内報の発行（2回/年、随時）
- 内部通報システム
- 労働組合との協議

# サステナビリティマネジメント

(株式会社カネミツ)

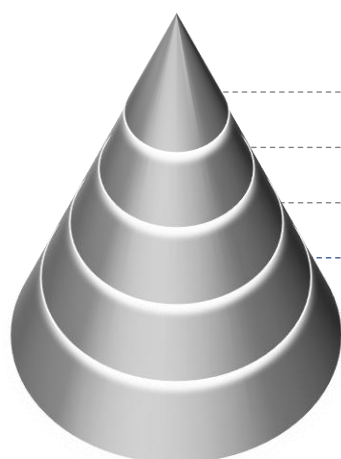
## SUSTAINABILITY POLICY

私たちカネミツ・グループは、「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す カネミツはOnly-One技術で安全と環境に貢献する」という経営理念に基づき、地球環境や社会の課題に向き合い、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。



2021年12月 制定

### サステナビリティ方針の位置づけ



経営理念

企業行動憲章

従業員行動規範

**サステナビリティ方針**

各方針

品質方針・環境方針・防災危機管理マニュアル方針  
 情報セキュリティ方針・コーポレートガバナンスの基本的な考え方  
 ダイバーシティ取り組み方針・安全行動30則・購買方針

# サステナビリティマネジメント

(株式会社カネミツ)

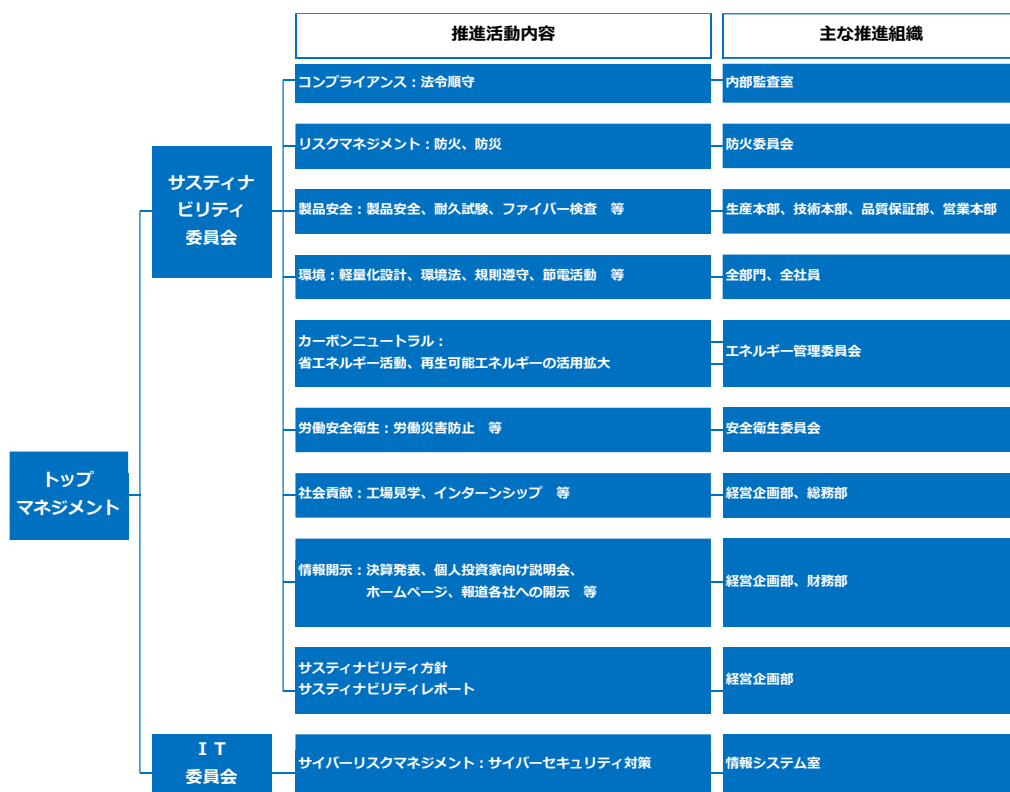
## SDGs



### 株式会社カネミツは 事業を通してSDGsの貢献に寄与してまいります

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## サステナビリティ体制



## 2023年度 サステナビリティ委員会 活動実績

開催回数：3回

主な討議内容：カーボンニュートラル実績報告、省エネ管理委員会の報告、サステナビリティレポートの討議、各拠点のサステナビリティ取り組み計画・報告 等

委員会メンバー(2024年3月時点)

### 委員

サステナビリティ委員長  
代表取締役社長  
4本部長（業務本部長、生産本部長、技術本部長、営業本部長）  
経営企画部長  
安全衛生委員長  
環境マネジメントシステム管理責任者

### オブザーバー

社外取締役3名  
監査役3名（社内監査役1名、社外監査役2名）  
内部監査室長

# マテリアリティ

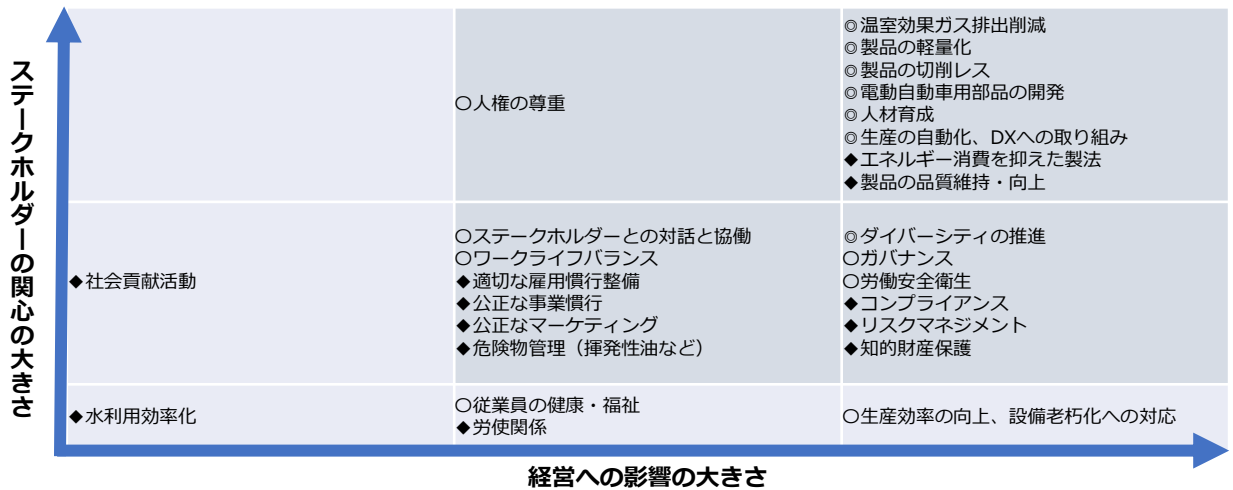
(株式会社カネミツ)

## 選定方法

<b>STEP1 課題の特定</b>	SDGsの17の目標/169のターゲットを軸に、事業およびサプライチェーンと関連性がある項目を抽出
<b>STEP2 優先順位付け</b>	ステークホルダーの期待・要望、カネミツにとっての重要性から優先順位付けを行いマテリアリティマトリックスを作成
<b>STEP3 妥当性の検証</b>	グループ経営陣、関係役員での議論 社外取締役、社外監査役と意見交換し、妥当性を検証し、優先的に取り組むべきマテリアリティを確認
<b>STEP4 経営レベルで承認</b>	社外取締役、社外監査役などの意見を踏まえて特定したマテリアリティや優先課題を経営層による審議の上、取締役会で承認

## マテリアリティマトリックス

○事業を通じて積極的に取り組む課題    ○全社的に取り組みを強化する課題    ◆これまで通り取り組みを進める課題



### ■ 環境

- ・ CO<sub>2</sub>排出量の削減
- ・ 資源有効利用
- ・ ペーパーレス化

### ■ 安心

- ・ 人権の尊重
- ・ 人材育成
- ・ 働き方改革
- ・ ダイバーシティ
- ・ コンプライアンス

### ■ 目指す姿

- ・ 軽量化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減で、地球温暖化防止に貢献します。
- ・ 切削工程を少なくする加工技術、熱を加えない加工技術により資源の有効利用に努めます。
- ・ 組織としてダイバーシティ&インクルージョンに取り組みます。
- ・ コンプライアンス体制の充実化を図っていきます。

### ■ 企業全体のSDGs目標



# SDGsの取り組み

(株式会社カネミツ)



## スクラップの少ない製法

熱を加えず、切粉を出さずにつくる技術をもっているため、スクラップが少ない製品が多くあります。一部の商品で切粉が出ますが、全てスクラップ業者に回収され、再利用しております。また、独自のバーチャルシミュレーション設計（KAVS）開発により、試作工数の大幅削減を実現しております。



## 気候変動への対応

2023年度はカーボンニュートラルの目標値を公表し、再生可能エネルギー（太陽光）の導入を行いました。また、業務連絡会議では、災害におけるBCP対策や従業員の安全を確保するための安全報告を月一回行っております。



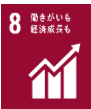
## インターンシップ・工場見学の受け入れ

国内外問わず、インターンシップや工場見学の受け入れを例年行っております。職場体験を通して、学びや気づきの機会を提供することを目的としております。また、社内においても、研修や教育訓練制度を充実し、個々の能力向上を目指しております。



## ダイバーシティ経営

サステナビリティ方針に掲げている通り、ダイバーシティを推進しております。年齢・性別・国籍などを問わない多様性を尊重する企業でありたいと考えております。ダイバーシティプロジェクトを始動し、『あかしSDGs パートナース』にも登録しております。



## 健康経営

経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」に認定されました。当社は、「安全・健康はすべてのキホン!!」をスローガンに、今後も「多様な人材が、働きがい・働きやすさを感じられる職場環境づくり」を目指して、健康経営にまい進してまいります。

# カーボンニュートラル

(株式会社カネミツ)

## カーボンニュートラル目標

株式会社カネミツ Scope1&2 において  
2026年3月までに**CO<sub>2</sub>排出量原単位 53%削減**(2014年3月期比)

※株式会社カネミツの売上高あたりのScope1&2のCO<sub>2</sub>排出量

当社では、サステナビリティ方針にカーボンニュートラルを掲げ、第9次中期経営計画においても脱炭素への取り組みを強力に進めております。2024年3月までの進捗状況を踏まえ、年率5%削減を目安に、削減目標値を35%から53%へ引き上げました。

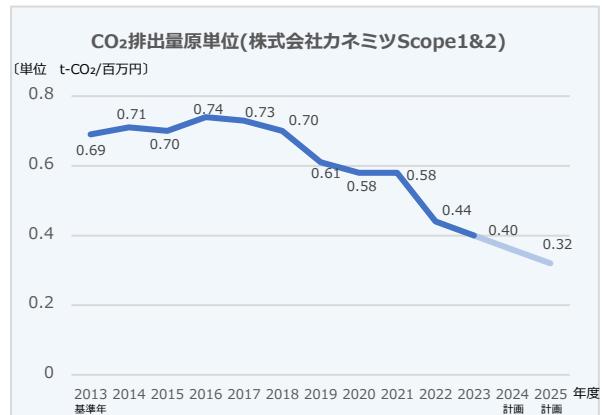
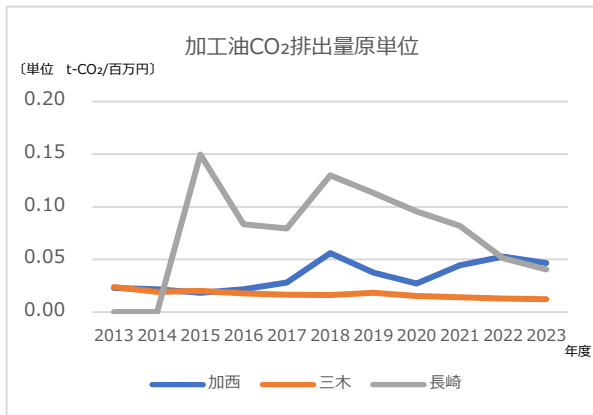
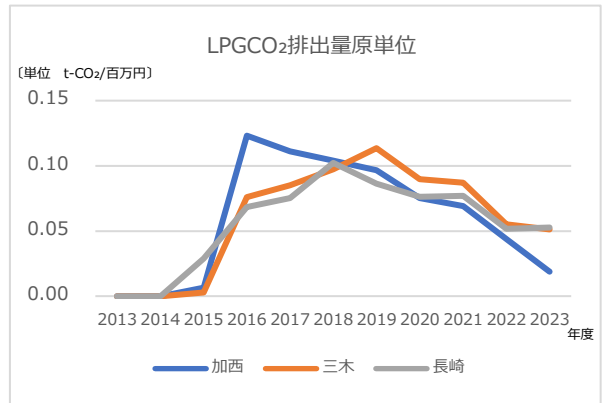
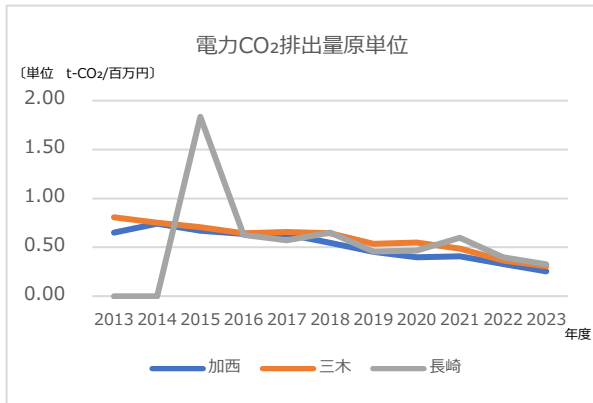
### ■主な取り組み

#### ①Scope1&2の取り組み

- ・生産効率向上
- ・バーチャルシミュレーション設計（KAVS）の活用拡大
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・スクラップの有効活用

#### ②Scope3の取り組み

- ・ネットシェイプ技術による軽量化
- ・xEV部品の拡販による削減貢献量の拡大



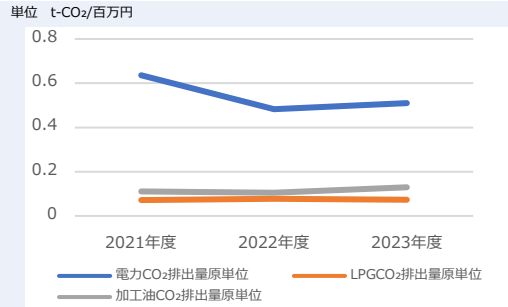
# カーボンニュートラル

## 松本精工株式会社 カーボンニュートラル

松本精工株式会社では、第3工場の屋根に太陽光発電パネルを設置しております。また、2023年度より、効率的な生産を目指し、工場レイアウトの見直しを進めております。



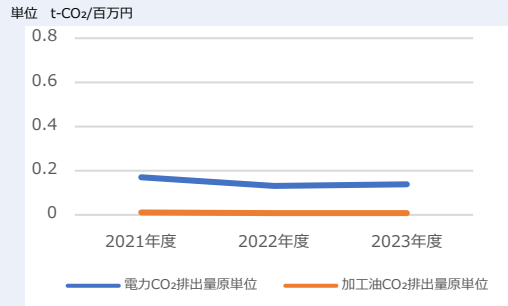
2023年度のカーボンニュートラルの低減活動を進めておりますが、製品構成の変化から使用量が上回り、削減効果が出ませんでした。2024年度は原単位排出量低減に向け、工場レイアウトの見直しはもちろん、日々の改善活動を強力に進めてまいります。



## 株式会社津村製作所 カーボンニュートラル

株式会社津村製作所では、従来より原単位排出量において低い水準を維持してきました。

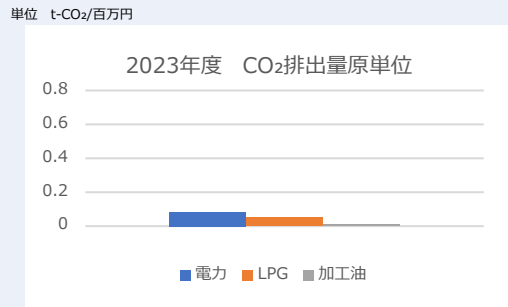
2024年度は、照明のLED化や生産設備の効率的な統廃合、倉庫集約などに取り組んでいきます。



## 株式会社キーネクスト カーボンニュートラル

株式会社キーネクストは、2023年7月より電動部品の生産を開始いたしました。また、工場屋根に太陽光発電パネルを設置しました。

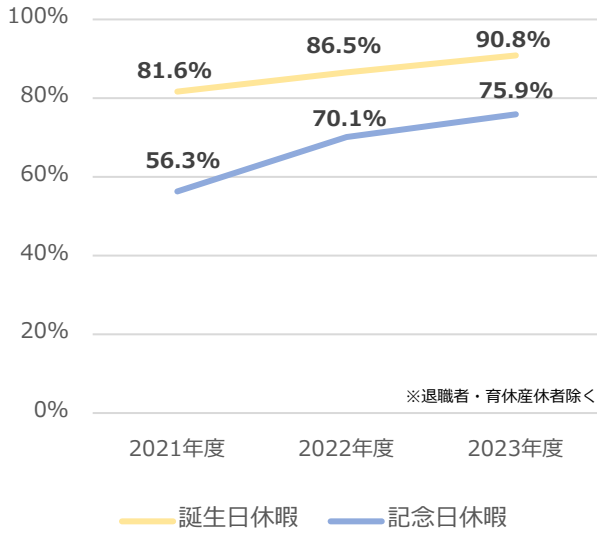
カーボンニュートラル実現に向けて、原単位排出量削減を目指します。



# 非財務情報

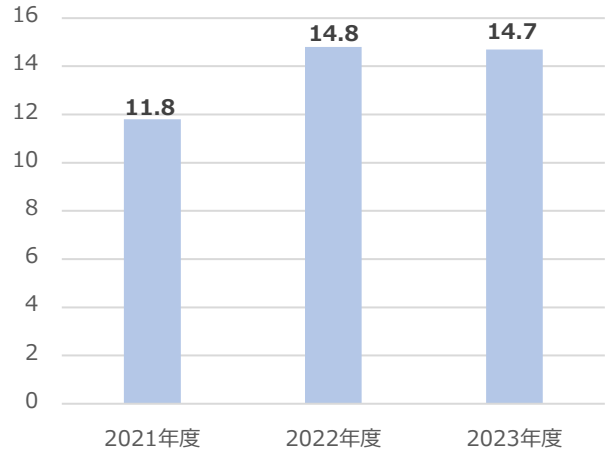
(株式会社カネミツ)

## ■ 誕生日休暇・記念日休暇 取得率

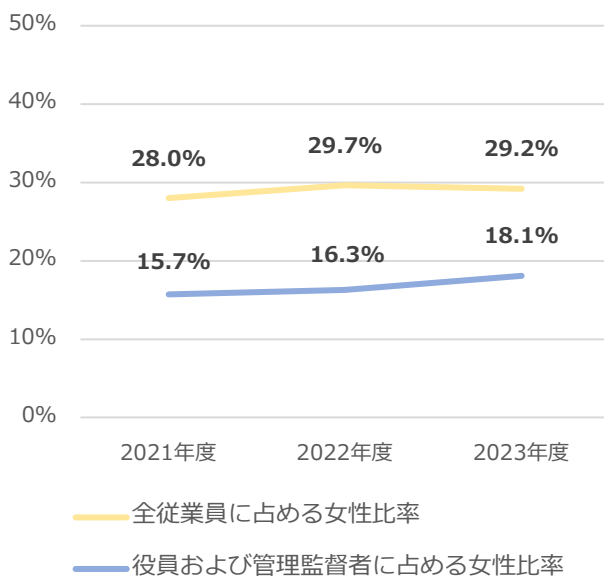


## ■ 有給取得日数平均

[単位：日]

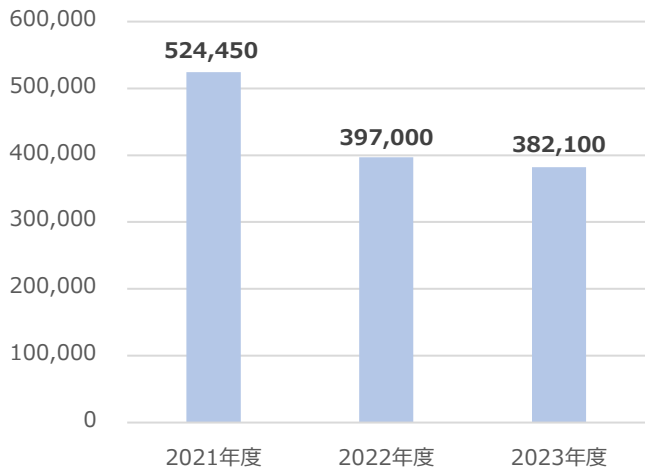


## ■ 女性社員を軸にした各比率



## ■ 紙購入枚数

[単位：枚]





# 中期経営計画

## スローガン 新しい世界に挑戦していきます

### 1. カーボンニュートラルへの取り組み

#### ① Scope1,2 の取り組み

2026年3月 CO<sub>2</sub>排出量原単位53%削減（㈱カネミツ Scope1&2 2014年3月期対比）

（2014年3月期 CO<sub>2</sub>排出量原単位 0.688 ton/百万円，原単位：CO<sub>2</sub> 排出量/売上）

- ・生産効率向上
- ・バーチャルシミュレーション設計(KAVS)の活用拡大
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・スクラップの有効活用 等

#### ② Scope3 の取り組み

- ・ネットシェイプ技術による軽量化
- ・自動車向け xEV 部品の拡販による削減貢献量拡大 等

### 2. 社会的課題への取り組み

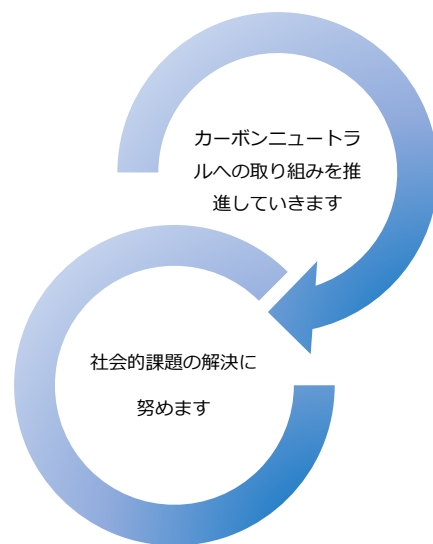
- ① ダイバーシティ経営の推進
- ② サイバーセキュリティへの取り組み
- ③ 地域との共生活動

### 3. 事業戦略

- ① プーリー事業での収益向上
- ② プーリー外商品の事業拡大
  - ・プーリー外商品（自動車向け xEV 用部品、トランスミッション部品）の国内外での拡販
  - ・モーターコア商品の国内での拡販
  - ・ロボット、農機、建機部品等の開発と拡販
  - ・B to C 商品の事業化
- ③ 開発型企業への発展
  - ・バーチャルシミュレーション設計(KAVS)の深化と活用拡大

### 4. 定量目標（2026年3月期）

- ① 連結売上高 11,500 百万円
- ② 連結営業利益 500 百万円
- ③ 連結ROE 4.4%



## 2023年度の事業の状況について

世界経済は概ね回復基調にありましたが、中国経済の失速、物価高の再燃、地域紛争の拡大等の不確定要因を抱えた状態での回復となりました。

また自動車業界は、ハイブリッド車を含む電動化が加速しました。

このような状況下で、当社グループは主力製品であるプーリーやトランスミッション部品、自動車の電動化に対応するxEV部品、ならびに今後需要拡大が期待されるモーターコア部品を4本柱として事業展開を行いました。プーリーやトランスミッション部品では、生産体制の再構築を実施し、収益向上を図り、xEV部品では拡販に注力し、モーターコア部品では一昨年設立した株式会社キーネクストで生産を開始しました。一方、海外拠点では特に中国市場での急速な自動車のEV化に伴うプーリー需要の減少により、収益を圧迫しました。

# トピックス

(株式会社カネミツ)

## 明石公園植栽活動

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 明石公園と協働での植栽活動を2014年6月より続けております。2023年度は5月27日、7月15日、12月2日の3回開催しました。明石公園正面入り口の花壇です。ぜひお立ち寄りください。



## 展示会出展（九州・中部）

中小企業テクノフェアin九州2023、メッセ名古屋2023、九州自動車関連技術展示商談会in刈谷に出展いたしました。当社を知って頂く機会となりました。今後も拡販を目指します。

### 【目的】

中小企業テクノフェア2023(2023年7月5日～7月7日)

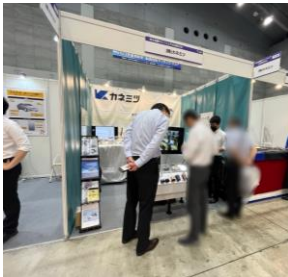
ものづくりに積極的に取り組む中小企業の広域的な受注機会の増大と新規販路開拓を促進する

メッセ名古屋2023(2023年11月8日～11月10日)

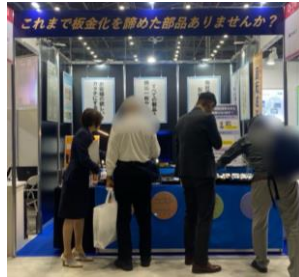
業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る

九州自動車関連技術展示商談会(2023年2月5日～2月6日)

中京地域の自動車関連企業等が求める素材・材料・加工分野やカーエレクトロニクス分野等における技術や生産ニーズに対して、九州・山口県の企業が持つ新技術や新工法を提案することにより取引拡大を図る



中小企業テクノフェアin九州2023



メッセ名古屋2023



九州自動車関連技術展示商談会in刈谷

## インターンシップ・職業体験受け入れ

地域貢献、学生の将来を考えるきっかけづくりのため、工場見学やインターンシップなどの受け入れを行っております。工場見学では、一枚の鉄板から製品ができるまでの一連の工程を見学いただき、当社のものでのこだわりを説明しております。

### ■ 2023年度実績 ■

長崎市立茂木中学校（職業体験学習） : 2023年9月13日～9月15日  
 長崎市立茂木中学校（工場見学） : 2024年1月19日  
 大学生対象1day仕事体験 : 計6回  
 大学生対象工場見学 : 計3回



# トピックス

(株式会社カネミツ)

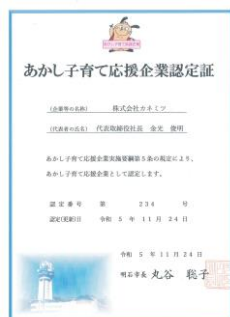
## WEB IR説明会



個人投資家向けIR説明会をWEBにて実施しました。当社技術やサステナビリティについて、説明いたしました。

開催日 : 2023年12月10日(日) 13:00~  
 説明者 : 代表取締役社長 金光俊明  
 開催方法 : オンライン

## あかし子育て応援企業認定



2023年11月24日に明石市が施策している『あかし子育て応援企業』に認定されました。

社有車を使用した地域のこどもの安全見守りや子育てしやすい職場環境づくりを推進しております。産前産後休暇や育児休暇に加え子どもの看護休暇などの休暇制度も取り入れております。また、男性の育児休暇取得の推進にも力を入れております。

## 加西第5工場 太陽光パネル設置



2023年7月、加西第5工場屋根に太陽光パネルを設置しました。当社のカーボンニュートラル目標達成に向けた活動の一環です。今後も再生可能エネルギーの導入検討を進めてまいります。

## ナイトシアター開催



当社は様々な機会を通じて、地域住民の方々との交流を図っております。2023年11月は、当社長崎工場の敷地内でナイトシアターを開催いたしました。今後も地域の方々との交流を深め、信頼され続ける企業を目指し、活動を行ってまいります。

開催日 : 2023年11月18日(土) 17:45~  
 開催場所 : 株式会社カネミツ 長崎工場敷地内  
 上映作品 : 最後の恋の始め方

# 社外取締役のメッセージ

株式会社カネミツ 明石本社前



当社3名の社外取締役に、サステナビリティの観点からメッセージを頂きました。

## 質問事項

1. カーボンニュートラルへの想い、考え方
2. 人的資本経営の進め方
3. リスク管理の考え方



社外取締役  
竹治 康公

### 1. カーボンニュートラルへの想い、考え方

従来の回転成形や増減肉技術に加えて、今後さらに工程の改善、製品の軽量化、様々な素材の活用などを通して温室効果ガス排出減少に貢献する製品を生み出すことを可能にする研究・開発体制を構築しなければなりません。同時に医療機器、ロボット等、自動車部品以外の分野にも温室効果ガス削減に寄与する製品を供給できるような開発・営業体制の構築が必要であると考えています。一方で、物流の効率化、再生可能エネルギーの活用等の継続的な努力の必要性も大きいと考えています。

### 2. 人的資本経営の進め方

人的資本経営は従前より取り組んでおり、中堅社員が将来像を検討する会議や若手社員対象の社内勉強会等を通じてOJT・Off-JTの両面で中堅・若手社員のレベルアップに取り組んできました。今後は対象を内外子会社社員に広げてさらに広くレベルアップできればと考えています。また、すべての社員の健康をサポートする体制の構築、さらに、介護・育児等に携わる社員が働きやすい環境の構築、一度離職した社員の再雇用システムの構築も必要であると考えます。

### 3. リスク管理の考え方

多岐にわたるリスクに対して、とりわけ会社の存続を揺るがしかねないような事態を引き起こさないための体制が必要であると考えています。社外取締役はサステナビリティ委員会などを通して適切な情報開示と意見陳述が可能な体制をとっていますが、さらに積極的に問題点を指摘していく必要があると考えています。一方で、ICEVからEVへという環境変化は最も対応が難しいリスクでもあり、社外取締役としても不断の情報収集によって適切に今後の事業推進に関与していかなければならないと考えています。

# 社外取締役のメッセージ

## 1. カーボンニュートラルへの想い、考え方

カネミツ独自の「回転成形法」や「プレス増肉工法」は、エネルギーや原材料の効率化で大きく地球環境に貢献しています。社内の対策も重要ですが、「環境に配慮した製品の推進」こそが最大の貢献です。今後はEV関連等も含めた新製品向けに、既存技術に新技術を組み合わせ、新規顧客の求める異なった要求に応え、自社製品を世界に広げていくことが、地球環境とカネミツの両方のサステナビリティに最も重要と考えています。



社外取締役  
林 隆一

## 2. 人的資本経営の進め方

カネミツでは、以前から年齢・性別・国籍関係なく、従業員の能力を発揮して働ける職場環境の実現を目指していますが、直近では「ダイバーシティ取り組み方針」を掲げ、「グローバルスタッフ認定」などの制度新設や生産ラインのロボット化・事務作業のRPA化などの働き方改革に取り組んでいます。今後も、グループ（人員）が能力を発揮するためには、時代とともに常に制度や仕組みを再構築し続けていく必要があります。

## 3. リスク管理の考え方

現状では、マイクロマネジメントに加え、それに対するサステナビリティ委員会や指名・報酬委員会などへの説明・開示により、一定のガバナンスが機能していると考えています。社外取締役としても、事前の社内取材も踏まえて、手続きの客観・透明性の確保を意識しています。ただし、中期的には国内外の子会社・関連会社の増加や事業の複雑化が進むと考えられ、属人に頼らない組織的なガバナンスに移行する必要があります。



社外取締役  
石橋 正明

## 1. カーボンニュートラルへの想い、考え方

欧米で排ガス規制が緩和されるなど、そのスピード感に変化がみられるものの、カーボンニュートラルの基本的な考え方自体に変化はなく引き続き経営の主要課題として粛々と推進していかねばなりません。また、林取締役が述べられているように、独自の「回転成型法」や「プレス増肉工法」により他社比環境負荷の少ない製品を供給している当社の事業拡大自体が、カーボンニュートラルに寄与している強味をサプライチェーンのスコープ3を通じて、効果的に遡及し営業面にも役立っていければいいですね。

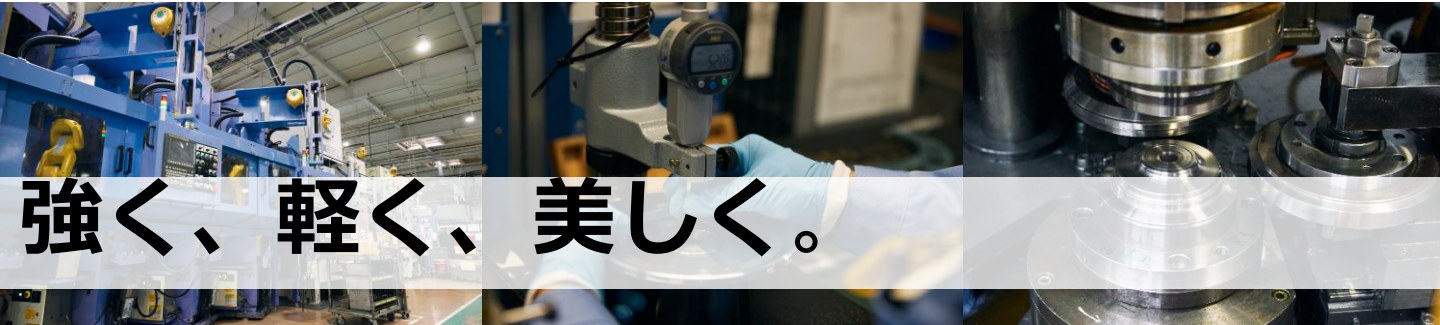
## 2. 人的資本経営の進め方

今年度の経営方針に、新たに人的資本経営の推進(1人あたり粗付加価値拡大に向けて)を掲げ取り組みをスタートしていますが、まず全社員の共感性のある取り組みにすることが肝要です。この課題の趣旨(社員が自らのスキル・能力を主体的に磨き高めていくことで付加価値拡大に貢献していく)を社員が然るべく理解し、具体的な行動に結び付けていく動機付けを各部門でしっかり行い、各自の働きがいの向上を実現しつつ付加価値拡大⇒成長に結び付けていきたいですね。働きがいの(エンゲージメント)の向上には、各自の健康の維持増進が不可欠なので、全社員が参加できる取り組みも具体化できればいいですね。

## 3. リスク管理の考え方

事業環境がより迅速かつ複雑に変化していく中で、リスク管理の重要性が従来以上に高まっているのは言うまでもありませんが、守りとしての的確なリスク管理を遂行していく一方で、当社が中計で掲げる『新しい世界に挑戦』し成長していくためには、リスクテイクが必要であり、攻めのリスク管理も重要と考えます。また、最近の業界内不正問題等の事案を振り返ると、風通しの良い組織風土の醸成がリスク管理の大前提として肝要な取り組みだと改めて認識します。

# 製品の環境への取り組み



**強く、軽く、美しく。**

## 強く

- 部分的な増肉が可能
- 製品の強度が向上
- 品質・安全性が高まる

## 軽く

- 部分的な減肉が可能
- 製品重量の軽量化を実現
- 燃費向上に貢献

## 美しく

- 面粗度が飛躍的に向上
- 艶やかな表面光沢を実現

製品の軽量化  
KAVSの活用

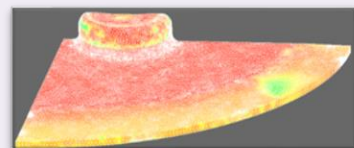
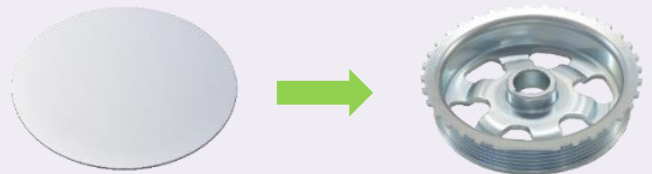


カーボンニュートラルに貢献  
資源の有効活用

## 環境に配慮した製品づくり

当社の製法は冷間のため、エネルギー消費が抑えられます。また、切削粉を出さないため大切な地球資源である原材料も最大限に活かせる方法で作っております。また、KAVSという当社独自のバーチャルシミュレーション設計を使用することで、実際に金型試作を行っていた工程をパソコン上で行うことができ、開発工数の大幅な削減に繋がりました。

ものづくり企業としての社会的責任において更なる技術の向上、生産プロセスの改善に努め、地球環境に配慮した製品づくりに向けた取り組みを進めてまいります。



KAVS (Kanemitsu Analyze Virtual Simulation)

# 製品の環境への取り組み

## 資源の有効活用

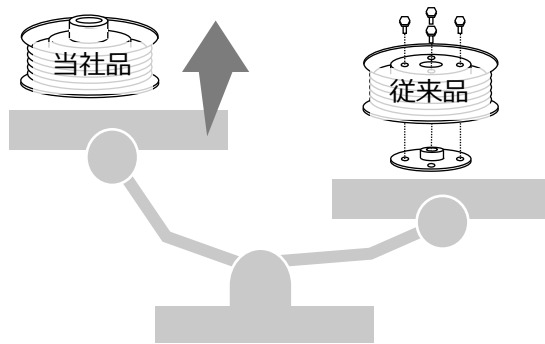


当社は鉄を購入し、製品を作っており、スクラップの最少化を目指したモノづくりを行っております。排出されたスクラップは、スクラップ業者により回収され、リサイクルされております。

また、他の素材に転用するなど、スクラップの有効活用も進めております。

## CO<sub>2</sub>削減

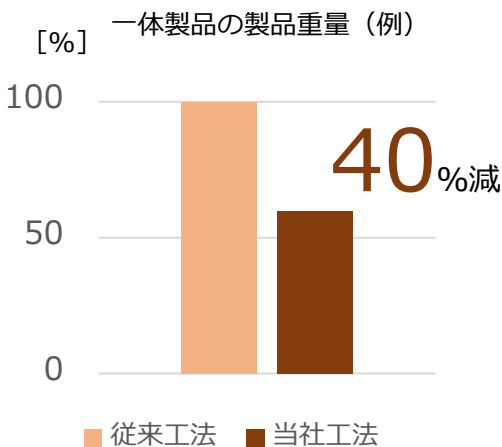
独自技術による製品の一体成形、増減肉によるスリム化で製品重量の軽量化を図っております。



一体成形による部品点数減

増減肉による製品形状の無駄の削減

製品の軽量化 = CO<sub>2</sub>削減



### 製品重量の軽量化とCO<sub>2</sub>削減の関係

自動車の燃費が向上すると、CO<sub>2</sub>排出量が低減します。燃費を向上させるには自動車の重量が大きく影響します。車体が軽いと燃費が上がり、車体が重いと燃費が悪くなります。

当社の独自工法は、部品の軽量化、省エネ、省資源に貢献します。カーボンニュートラル実現のためにも、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献できる部品の軽量化を提案しております。

# 製品の環境への取り組み

## KAVSによる開発

従来のプロセス		
	<p>高額な金型費用と試作時間を要するため、実試作は2~3回が限度となります。</p>	
KAVSによるプロセス		
	<p>トライ&amp;エラーをPC上で何度も行うことが可能になります。                  (金型モデル作成→負荷(トン数)・変形量等を確認)                  OKの場合は、実際の金型を作成して開発を行います。                  最適な金型構造・工程設計により開発期間と開発費用の削減を可能にします。</p>	

## 増減肉技術による製品形状の無駄の削減 事例 (ミッション部品)

従来品	切削品		
	<p>後工程での削り代 (ピンク部分)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">熱間鍛造素材からの切削加工</div>	
当社例	当社プレス・回転成形での増減肉加工品		
	<p>後工程での削り代 (ピンク部分)</p>	<p>製品</p> <p>ボス部一体成形</p> <p>増肉部分 (外周部)</p>	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">軽量化</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">省エネ</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">ニアネットシェイプ</div>
<p>製品外周部を回転成形法により素材の板厚の約3倍に増肉。部分的に増減肉を行うことにより、後工程での削り代を大幅に削減しています。軽量化、省エネルギー、省資源に貢献いたします。</p>			

ニアネットシェイプ・・・完成形に近い状態



# 品質向上

(株式会社カネミツ)

## 品質方針

世界にはばたく独創的な高品質商品をお客様に提供することにより社会に貢献し私たちの未来を拓く

IATF16949品質マネジメントシステムを基にした品質保証体制により、常に高品質な製品を安定してお届けしています。

## 品質に対する社員意識向上に向けた取り組み

### QC活動

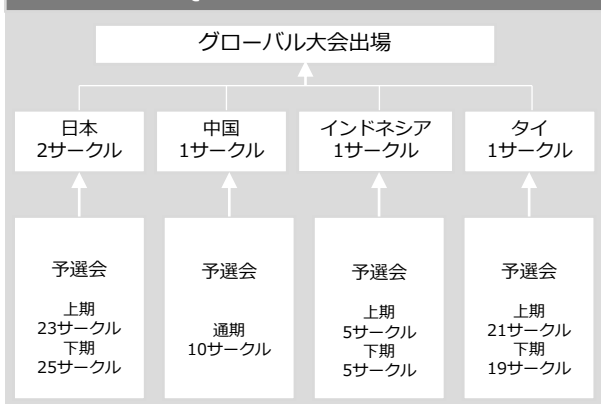
顧客満足にお応える製品の品質向上を目指し、QCサークル活動（小集団改善活動）を推進しております。

毎年、当社グループを対象に「カネミツQCサークルグローバル大会」を開催し、QC手法や改善事例を通じて、グループ内全体の品質改善のレベルアップと品質意識向上を図っております。



※写真は2019年度QCグローバル大会です。

### カネミツQCサークルグローバル大会の流れ



※2023年度の参加サークル数です

「カネミツQCサークルグローバル大会」では、海外子会社の発表者を招いて事例発表会を開催しております。また、その際に来日した海外子会社の社員は国内工場を見学し、改善の横展開等を図っております。

2023年度の大会は海外からの渡航が叶わず、リモート開催となりましたが、ライン段替え時間短縮、リサイクル活動推進による廃棄処理費用削減、エリアの油漏れ削減などの事例の発表を行いました。

### グローバル大会出場サークル資料（抜粋）

**テーマ：ライン段替え時間短縮**  
1. テーマの選定理由  
2022年 2人の場合359分、部門方針（2人の場合260分以内、3人の場合200分以内）と差が大きいです。

**6. 要因分析**  
段替え時間が長い  
方法  
人

**8.4 工具の置き場の改善**  
対象：工場一帯の作業スペース  
改善前：工具は一つ一つ探す必要があるため、探すのに時間がかかる。  
改善後：作業スペースを整理し、工具の置き場を明確にする。探すのに時間がかからず、作業効率向上。

**8.5 ロール筒工程の搬送マグネットの調整不便の改善**  
対象：搬送マグネットの調整作業  
改善前：調整作業に時間がかかり、作業効率低下。  
改善後：調整作業を簡易化し、作業効率向上。

**8.10 の専用スレーサーの改善**  
対象：専用スレーサーの調整作業  
改善前：調整作業に時間がかかり、作業効率低下。  
改善後：調整作業を簡易化し、作業効率向上。

**9. 効果確認 (2)**  
改善前：359分 (2人作業)  
改善後：224分 (2人作業)  
**135分の短縮で目標達成**  
効果金額 (製造時間短縮による)  
短縮時間135分×稼働率月平均3割×405分/月  
405分×60秒×稼働率月平均3割×250,000円/月の生産可能  
平均製品単価100円/個×2,500個×250,000円/月  
250,000円/月×12ヵ月 = **3,006,000円/年の効果。**

## 品質・顧客満足度向上に向けた取り組み

### 2023年度提出件数

改善提案	658件
ヒヤリハット	1,433件
ホークアイ	49件

改善提案制度により、社内で日常の困りごとを改善する取り組み、危険箇所、品質不具合の予兆の報告を受け、品質・顧客満足度向上に繋げております。

従来は全て紙にて報告書を提出しておりましたが、クラウドサービスに切り替えたことにより、申請がスムーズに進むようになりました。簡易化により提出者承認者共に時間削減ができ、提出頻度が向上しました。

今後も日々の改善から顧客満足度を高める取り組みを続けてまいります。

## グループ拠点对抗品質向上活動

### 2023年度

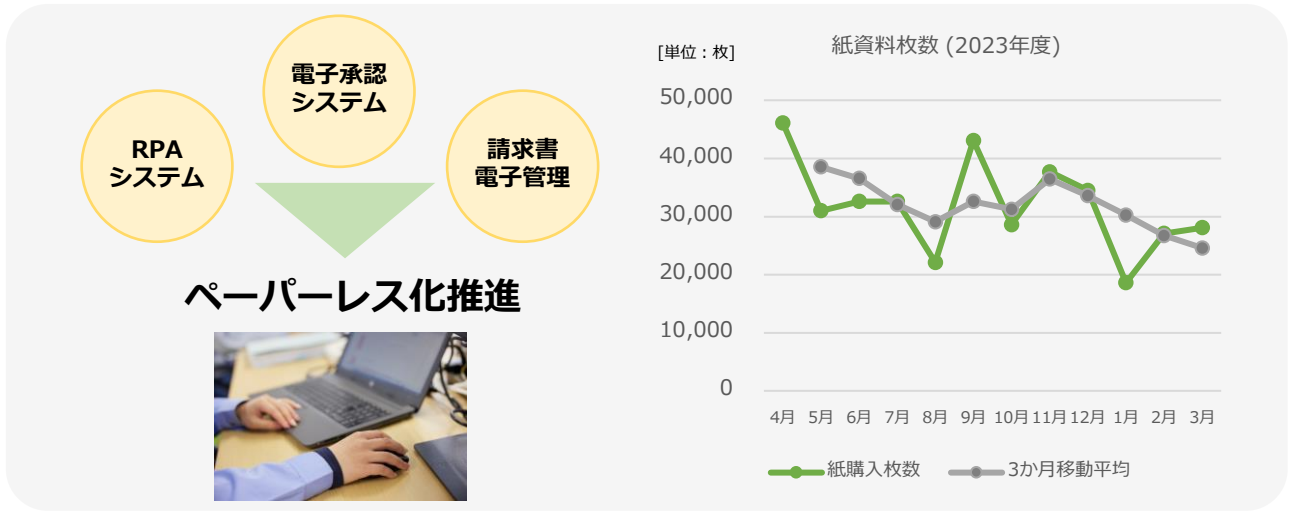
工程内不良率改善賞	佛山金光汽車零部件有限公司
品質最優秀拠点賞	株式会社カネミツ加西工場

毎年グループ拠点对抗品質向上活動を行っており、2023年度で14回目の開催となりました。年間の出荷総数・顧客クレーム件数・工程内不良率で良い成績を出し、年間実績が最も良い成績の拠点到表彰を行っております。

継続して品質維持・向上に努めてまいります。

# 環境への取り組み

(株式会社カネミツ)

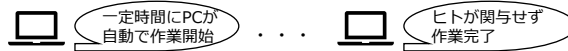


## RPAシステム

従来：時間を決めて定常作業をヒトの手で行う



導入後：一定の時間にヒトが関与せずに定常作業を行う

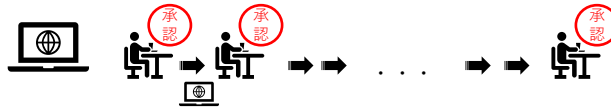


## 電子承認システム

従来の回覧完了までの日数：約1週間 (紙ベースでの承認・拠点間は配送)



導入後の回覧完了までの日数：1~3日程 (PC上での承認)



## 請求書電子管理

従来の請求書管理：請求書の多くが紙で届く  
⇒紛失リスクがある  
⇒支払い手続きに工数がかかる



導入後の請求書管理：請求書の多くが電子化  
⇒早期対応で支払い手続きが完了する



# 環境への取り組み

(株式会社カネミツ)

## 3R (リデュース・リユース・リサイクル) 活動



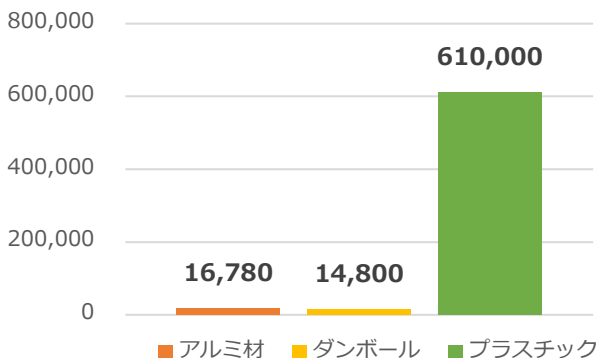
カネミツは3R活動を推進しております。2023年11月に実施した3R推進月間では、遊休部品のリユースやペーパーレス化の推進、LED化、リサイクル活動などに取り組みました。引き続き3R活動の推進を行ってまいります。

### ■ 3R推進月間 取り組みテーマ

3R項目	実施テーマ	対象部門		
		事務部門	工場部門	開発部門
減らす (Reduce)	・3Rに配慮した設計・製造		●	●
	・副産物等の発生抑制		●	
	・ペーパーレスの推進 (ワークフローシステム活用、デジタル文書管理、デジタルコミュニケーション活用)	●	●	●
	・WEB会議の有効活用 (客先や工場間の不要な移動を削減)	●		●
	・無駄なエネルギーの使用を削減 (照明、冷暖房、電子機器のエネルギー消費を最適化)	●	●	●
繰り返し再利用 (Reuse)	・不要な物品の購入を抑制 (在庫を計画的に調達し、過剰な在庫を持たない、部署の共通備品スペース設置等)	●	●	●
	・発生したごみを圧縮などで減容する	●	●	●
	・印刷は両面、集約などの機能を活用	●	●	●
	・使い捨て製品の使用や購入を減らす	●	●	●
	・備品、部品、材料など繰り返し再利用 (工場手袋の再利用等)		●	
リサイクル (Recycle)	・生産工程における廃棄物を再利用 (梱包用ビニール袋再利用等)		●	
	・金型の寿命向上		●	●
	・部品および機器の再利用 (修理か再生可能な部品の取り外して製品寿命を向上)		●	●
	・資材の再利用 (不要な資材やオフィス家具を他の部門や事業で再利用)	●	●	●
	・スクラップ活用		●	●
リサイクル (Recycle)	・アクリル板再利用	●	●	●
	・ごみの分別を徹底する	●	●	●
	・適正な産業廃棄物処理を実施	●	●	●
	・適切なリサイクル業者を選定する	●	●	●
	・使用済の切手、ペットボルのキャップを集めて、寄付する	●	●	●



[単位：グラム] 推進月間のリサイクル量/月



# エネルギー管理委員会

(株式会社カネミツ)

## 2023年4月にエネルギー管理委員会が発足しました

2023年4月、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、効率的かつ効果的なエネルギーの使用を図るための全社活動を推進する体制として、エネルギー管理委員会を設置しました。

「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」とは？

石油危機を契機として1979年に制定された法律であり、「内外におけるエネルギーをめぐる経済的社会的環境に応じた燃料資源の有効な利用の確保に資するため、工場等、輸送、建築物および機械器具等についてのエネルギーの使用の合理化に関する所要の措置、電気の需要の平準化に関する所要の措置その他エネルギーの使用の合理化等を総合的に進めるために必要な措置を講ずることとし、もって国民経済の健全な発展に寄与すること」を目的としています。

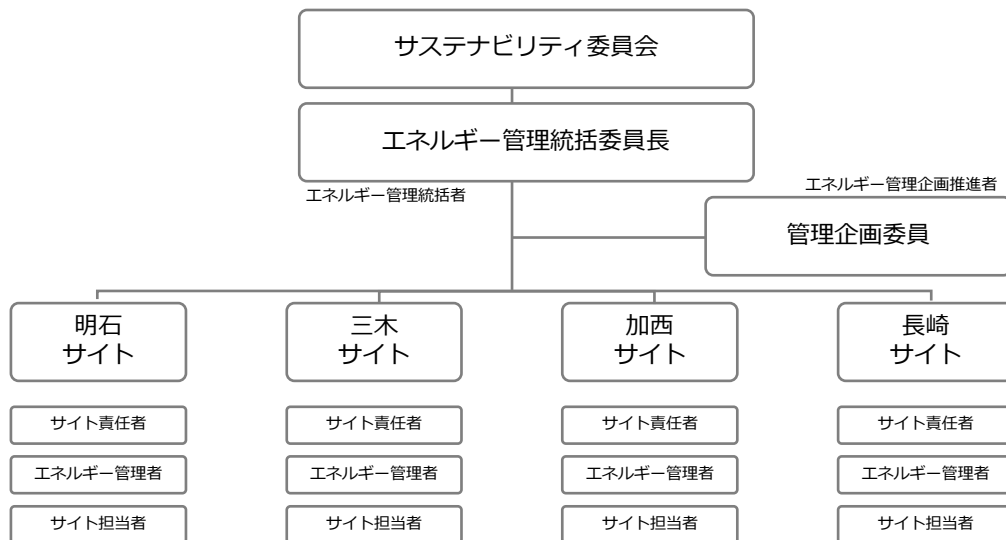


## 取り組み方針

私たちカネミツグループは、「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す カネミツはOnly-One技術で安全と環境に貢献する」という経営理念に基づき、地球環境や社会の課題に向き合い、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。

- ・省エネルギーでの商品生産
- ・バーチャルシミュレーション設計（KAVS）活用
- ・再生可能エネルギーの活用

## 組織



# エネルギー管理委員会

(株式会社カネミツ)

## 委員会での取り組み

- 空調のGHP（ガスヒートポンプ）の廃止（電気モータヒートポンプへの変更）
- 統合による生産ラインの廃止（加西工場1ライン・三木工場1ライン）
- 照明のLED化（加西工場・三木工場）
- 太陽光発電導入
- 高効率変圧器への更新
- 高効率モーターへの更新



電気モータヒートポンプへの変更



LED化



生産ライン統合

## 責任者の責務

- エネルギー管理統括者**  
経営的視点で管理を行い、会社全体のエネルギー管理方針や目標などを策定するとともに社内に徹底し省エネ計画の旗振りを担う。
- エネルギー管理企画推進者**  
実績評価を行い継続した改善の立案を担う。
- サイト責任者およびエネルギー管理者**  
サイト毎の管理、運用を担い、目標や方針を受けサイト内の管理体制を整備し日常のマネージメントを担う。
- サイト担当者**  
サイト責任者の補佐を担う。

## 委員会の運営概要

- 委員会開催回数：年2回・臨時委員会
- エネルギー管理統括委員長を議長とし、管理企画委員から国のエネルギー情勢や社会概況説明、法制度対応状況の報告を行う。
- 管理企画委員よりエネルギー使用実績や原単位などの報告を実施。
- 今後の省エネ活動計画、省エネ中長期計画、再エネ活動計画、再エネ中長期計画の審議などを行う。

## 委員会討議内容

- エネルギー消費実績、CO<sub>2</sub> 排出量実績、エネルギー原単位推移、エネルギーコスト
- 省エネルギー活動実績、設備改廃状況、省エネ対策工事の進捗状況
- エネルギー教育・訓練実績、資格取得関連情報
- 中長期計画、省エネ計画、再エネ計画 等

## 委員会開催実績

- 開催回数：2回
- 開催日時：2023年5月19日、2023年12月5日

# グループ会社の取り組み

## KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 【タイ】



KANEMITSU PULLEY CO., LTD.



タイテクニカルセンター

2023年度のサステナビリティ活動は、省エネに関する取り組み項目を2点掲げ、計画通りに実行することができました。

- ① 高効率コンプレッサーへの入替
- ② からくり改善による電力使用量の削減

その他の活動として、エネルギーDAYの社内イベント開催、3R（リデュース・リユース・リサイクル）での廃棄物削減の推進、従業員の環境意識向上研修についても取り組みました。

カーボンニュートラルへの取り組みとして、IoTを活用した業務改善、環境と調和した持続可能な社会を実現するために植樹活動にも参加しました。

## 佛山金光汽車零部件有限公司 【中国】

佛山金光汽車零部件有限公司では、2023年度下記の取り組みを実施しました。



- ① 2台の社用車をガソリン車から電気自動車（BEV）に変更し、ガソリン消費量を年間6,500L削減し、CO<sub>2</sub>換算で排出量15.34kg削減可能となりました。
- ② コンプレッサーを省エネ型に更新しました。また、コンプレッサー室の環境改善を行い、排風機の使用を減少させ、消費電力を年間15,441Kwh削減し、12,352元の費用低減をしました。
- ③ ボイラーを省エネ型に更新しました。排出される排気ガス中のNoxの含有量の低減を行いました。運転燃焼効率が向上し、天然ガスの使用量を削減しました。
- ④ 汚泥乾燥機を導入し、汚泥箱内の湿った汚泥を密閉空間で熱風を循環させ乾燥する方法に変更しました。汚泥の乾燥速度、脱水率が向上し費用の削減をしました。（脱水率61%）
- ⑤ 電子承認システム（ワークフロー）を導入し、申請書類の電子化を進め、事務作業の効率化およびペーパーレス化を進めております。
- ⑥ 塗装スラッジ除去機を導入し、品質向上と作業負荷の軽減を行いました。人の作業から自動化へ、化成槽洗浄頻度も週1回から2週間1回へ低減しました。



① 電気自動車（BEV）に変更



② 高効率コンプレッサーへの更新とコンプレッサー室の通気性改善



③ 高効率ボイラーへの更新



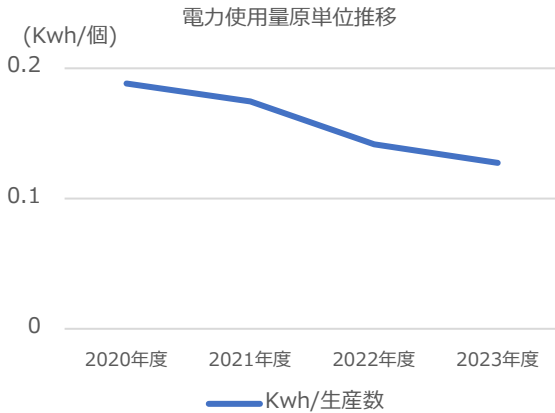
④ 汚泥乾燥機の導入



⑥ 塗装スラッジ除去機の導入

# グループ会社の取り組み

## PT. KANEMITSU SGS INDONESIA 【インドネシア】



2023年度、PT. KANEMITSU SGS INDONESIAでは、生産効率向上による電力使用量削減を主な取り組みとして実施しました。

- ① 休止時間削減による稼働率の向上、搬送装置の改善によるサイクルタイムUPに取り組み、時間あたり生産数は対前年9.7%UPとなりました。結果、1個あたり電力使用量は対前年10%低減しております。
- ② 従来であれば廃却する金型を改造する事により他部品への転用を図りました。

## 松本精工株式会社 【兵庫県】



フォークリフト充電時

4月13日に第1回安全衛生委員会を開催し、災害の発生状況や残業実態の把握、安全・衛生パトロールの実施、ヒヤリハット提案の対策検討など、安全で快適な職場環境形成に向けた活動をスタートしました。

2023年度は残念ながら赤チン災害が1件発生しましたが、今年度も重大災害ゼロに向け取り組んでいきます。

また、11月15日に保険サービスのリスク診断を受診し、防火・防災の観点から本社第1工場を診断いただきました。「防火（防災）組織体制の整備」や「フォークリフトの充電時・給油時の管理強化」など、9件の改善提案を受けましたので、計画的に改善を進めていきます。

子会社管理業務統合の一環で、入社時刻の管理や給与支給等の各種帳票のペーパーレス化も推進しております。

今後も環境に配慮した事務作業の効率化に取り組んでまいります。

# グループ会社の取り組み

## 株式会社津村製作所 【大阪府】



2023年度、津村製作所では下記の取り組みを実施しました。

- ① 電気モーターヒートポンプを高効率タイプに更新
- ② ガソリン式フォークリフトを電動フォークリフトに更新
- ③ コンプレッサーを高効率タイプに更新
- ④ 棚卸作業のハンディーターミナル化により工数および用紙削減
- ⑤ 工場トイレの照明を人感センサーライトに変更
- ⑥ 給与・勤怠システムの導入により給与明細の電子化、有休申請の電子承認化の実施

その他の取り組みとして、安全衛生教育による安全意識の向上、工程内不良率の大幅削減、ペーパーレス化の推進、スクラップ再利用の検討などに取り組みました。



フォークリフト



コンプレッサー

## 株式会社キーネクスト 【兵庫県】



株式会社キーネクスト 外観

カネミツ加西工場の敷地内にある株式会社キーネクストは、2022年10月に設立し、2023年7月より生産を開始しました。

自動車のEV化で成長が見込まれる、モーターコア関連部品を生産しております。モーターコアとは、モーターを構成するローター（転子）やステータ（固定子）の鉄心部分に当たる部品のことをいいます。金型を使ってプレス加工した電磁鋼板を、一定枚数積層させて製造しております。

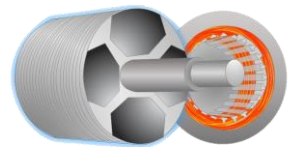
2023年7月には、工場屋根に太陽光パネルを設置しました。今後も再生可能エネルギーを活用しながら、生産活動を行ってまいります。



株式会社キーネクスト 屋根



モーターコア関連部品





# CSR活動実績

(株式会社カネミツ)

No.	実施項目	実施内容	担当部門	頻度・時期	計画実績	2021年度	2022年度	2023年度
1	コ ン プ ラ イ ア ン ス	(1)業務監査・会計監査	監査役	監査計画による (4月取締役会)	計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
		(2)業務監査・内部統制監査	内部監査	監査計画による (3月取締役会)	計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
		(3)法務勉強会	総務	年4回	計画	4回	4回	4回
					実績	4回	4回	4回
2	リ ス ク マ ネ ジ ン ト	(1)防災訓練	防火委員会	1回/年 11月	計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
		(2)放水訓練	各工場 自衛消防隊	毎月⇒6回/年	計画	11回	6回	6回
					実績	12回	7回	6回
		(3)防火委員会	防火委員会	年4回	計画	4回	4回	4回
					実績	4回	4回	4回
		(4)サイバーセキュリティ	IT委員会	未定(年1回)	計画	1回	1回	1回
					実績	0回	1回	0回
		(5)備蓄資材の確保	総務	1回/年 12~1月	計画	1回	1回	1回
					実績	0回 (2022年5月入替)	1回	1回
		(6)安否確認テスト	総務	4月、10月	計画	2回	2回	2回
					実績	2回	2回	2回
3	環 境	(1)ISO14001更新審査	全社	6~7月	計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
		(2)油水分離槽点検 (槽内点検、オイルマット交換)	各工場	点検：三木加西1回/週、 長崎1回/月 交換：油浮遊器時	計画	随時	随時	随時
					実績	随時	随時	随時
		(3)騒音測定	各工場	三木加西2回/年 (5月、11月) 長崎1回/月	計画	2回	2回	2回
					実績	2回	2回	2回
		(4)フロン簡易点検	各工場	4回/年	計画	4回	4回	4回
					実績	4回	4回	4回
4	労 働 安 全 衛 生	(1)安全衛生委員会	安全衛生委員会	毎月 (明石隔月)	計画	12回	12回	12回
					実績	12回	12回	12回
		(2)定期健康診断 メンタルヘルスチェック	総務	1回/年 4月	計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
		(3)交通安全教育	総務	2回/年 8月、12月	計画	2回	2回	2回
					実績	1回	2回	2回
5	社 会 貢 献	(1)明石公園植栽活動	経営企画	3回/年	計画	3回	3回	3回
					実績	3回	3回	3回
		(2)各工場周辺掃除 ①明石：毎月1回周辺掃除 ②加西：工場公園クリーンアップキャンペーン参加 ③長崎：茂木港の清掃実施	各工場	1回/年 (明石12回/年)	計画	12回	12回	12回
					実績	6回	①12回 ②3回 ③5回	①12回 ②3回 ③5回
		(3)寄付金(長崎県、長崎市)	経営企画	2月	計画	1回	1回	1回
					実績	2回	1回	1回
		(4)インターンシップ受け入れ	各部門	8~9月 12月	計画	2回	2回	2回
					実績	2回	2回	2回
		(5)工場見学	経営企画 各工場	12月、1月	計画	1回	-	1回
実績	2回				2回	4回		
6	情 報 開 示	(1)IR説明会	経営企画		計画	-	1回	1回
					実績	-	1回	1回
		(2)サステナビリティ方針の策定、開示	経営企画		計画	1回	1回	1回
					実績	1回	1回	1回
7	定例サステナビリティ委員会	(1)実績(上期/下期)と次期計画	サステナビリティ委員会	3回/年	計画	3回	3回	3回
					実績	3回	3回	3回

# 人的資本経営

(株式会社カネミツ)

## 人的資本経営とは

人的資本経営というワードの認知が広まっております。人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出し、中長期的な企業価値向上につなげる経営を目指すことです。これまで考えられてきた「人材（ヒトを財産として大切にすること）」だけではなく、人の能力などを資本とみなし、投資していく考えです。当社においても、従業員一人ひとりの力を発揮することにより、事業を継続することができていると考えております。従業員一人ひとりの可能性を広げ、働き続けたいと思われる企業を目指し、今後も活動を行ってまいります。

### ■ 人的資本経営に向けた動き

経営企画委員会にて、下記の内容で討議しました。

経営企画委員会とは

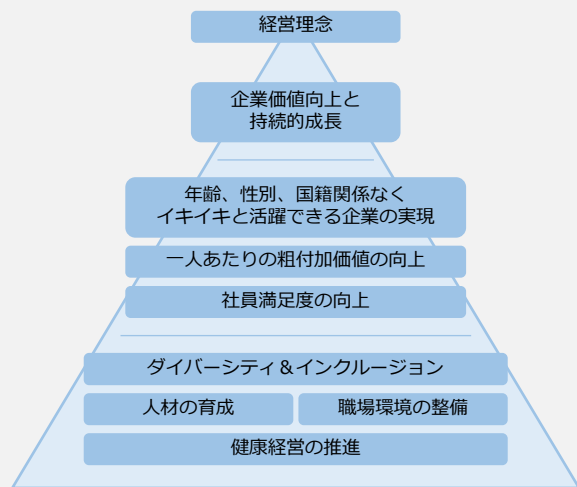
取締役会から意見を求められた事項について、審議して具申することを目的とした委員会

■実施日	■討議内容
2023年11月9日	人的資本経営の指標や目標1・エンゲージメント
2023年11月16日	人的資本経営の指標や目標2・従業員満足度
2023年12月14日	人的資本経営の指標や目標3・人材マップ・従業員満足度調査

### ■ 人的資本経営の取り組み

## 年齢、性別、国籍関係なく活躍できる人材の育成、職場づくりを目指します

カネミツの人的資本経営体系図



### 取り組みの一例

#### ■ 次世代リーダー育成・女性活躍推進

- ① 兵庫県内6社連携講座「女性リーダー・キャリアアップ勉強会」  
受講者：5名  
期間：2023年11月から2024年11月まで
- ② 女性リーダーのためのビジネス・カレッジ  
期間：2023年10月～2024年3月

#### ■ グローバルスタッフ・ジュニアグローバルスタッフ認定制度

- ① グローバルに活躍するスタッフへの認定制度を設けております。  
【目的】グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成  
認定第1号：タイ子会社 タイ人男性スタッフ  
海外子会社の技術トップとして活躍
- ② ジュニアグローバルスタッフ制度を2023年に新設しました。  
認定第1号：日本本社 日本人女性スタッフ

#### ■ 海外子会社の技術・技能者育成

- ・2012年より海外子会社の技術・技能者育成のため、日本での技術教育を継続しております。  
対象者：タイ・中国・インドネシア子会社の社員  
【結果】タイテクニカルセンターに主力商品プーリの開発機能を移管  
・インドネシア子会社の技術トップはタイ人技術者  
・インドネシア製造幹部は当社のインドネシア人技能実習生経験者  
・タイ子会社・中国子会社にバーチャルシミュレーション (KAVS) を展開

#### ■ IT資格取得促進

- ・資格取得報酬制度の対象資格にIT資格を追加しました。  
追加したIT資格：ITパスポート・VBAエキスパート・RPA技能者検定等  
IT資格取得者を増やすことで、人材の高度化と全社DX化を支えています。



# 人的資本経営 - ダイバーシティ -

(株式会社カネミツ)

## ダイバーシティ取り組み方針

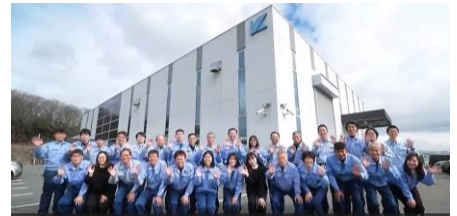
**カネミツは、持続的な発展を遂げるため、多様な社員の働きやすい職場環境の実現を目指し、ダイバーシティを推進していきます。**

### ■当社にとって多様な社員とは

年齢・性別・国籍が多様であること

### ■当社にとっての働きやすい職場環境とは

年齢・性別・国籍関係なく、働けること  
 年齢・性別・国籍関係なく、公正に評価されること  
 経験・能力・資質を活かした高度な仕事ができる機会を与えられること



### ■当社の主な取り組み

- ①多様な国籍に対する取り組み：拠点間での企業内転勤・外国人技能実習生受け入れ、国籍を問わない採用活動
- ②ジェンダーへの取り組み：キャリアアップ研修制度、時差出勤制度、時間有給制度
- ③ワーク・ライフバランスへの取り組み：WLB研修、復職者向け面談・研修

## ダイバーシティ&インクルージョン推進の課題と方策

課題	方策
次世代の管理職候補者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職候補者育成研修（マネジメントスキル向上）</li> </ul>
多様な人材の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成施策、キャリア支援</li> <li>・採用強化</li> <li>・女性管理職比率向上</li> </ul>
働きがい・働きやすさを感じられる職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児、介護両立支援施策</li> <li>・多様な働き方の制度整備</li> <li>・労働環境の整備（作業負荷低減・休憩室の整備）</li> </ul>

## ダイバーシティプロジェクト



ダイバーシティ研修会の様子

ダイバーシティ推進のため、2022年よりダイバーシティプロジェクトを立ち上げ、活動しております。2023年度は、従業員意識調査の内容分析とキャリアアップ研修の企画などについて討議し、ダイバーシティ経営を推進してまいりました。

2023年度開催回数：6回

### 主な討議内容

ダイバーシティ経営取り組み計画・報告、管理者向けダイバーシティ経営やLGBTQ+研修の企画や開催、キャリアアップ研修制度・考課者面談シートの再整備、福利厚生制度の充実化・働きやすい労働環境づくりの討議や整備、業務や作業マニュアルの整備と映像化・多言語化の推進、社内コミュニケーション活性化の企画検討等

### メンバー

ダイバーシティ担当執行役員、ダイバーシティ担当代理、総務部長、経営企画部長、経営企画部員

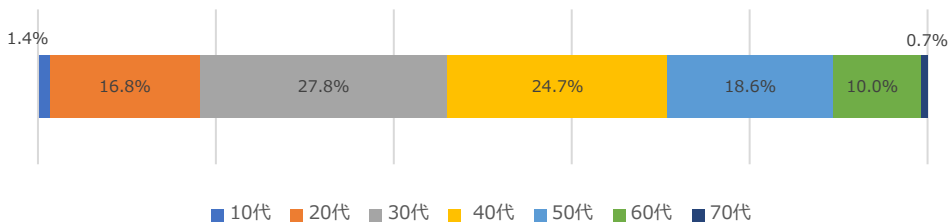
# 人的資本経営 - ダイバーシティ-

(株式会社カネミツ)

## 年齢

2024年3月調査

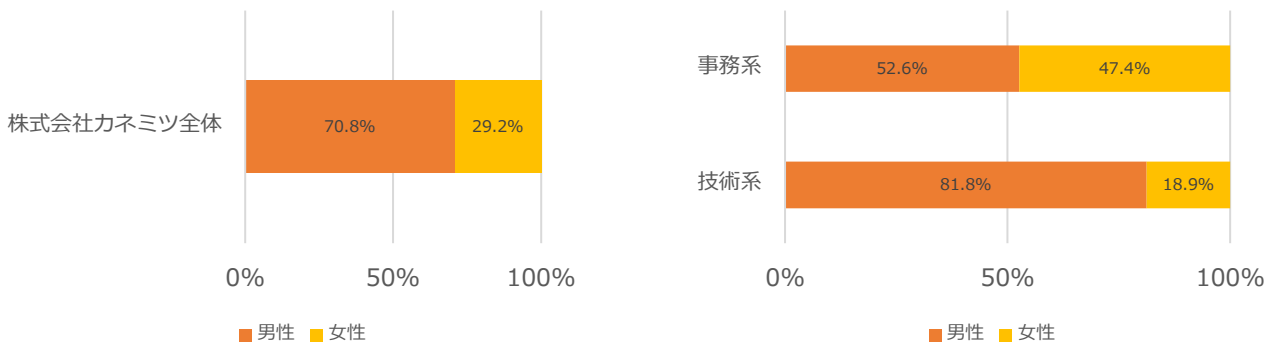
当社の年齢構成は下記の通りです。10代から60代までの社員が、年齢に関係なく様々な部署で活躍しております。



## 性別

2024年3月調査

当社社員の男女比は男性70.8%、女性29.2%となり、事務系の男女比は、男性52.6%、女性47.4%、技術系の男女比は、男性81.1%、女性18.9%という結果となりました。今後は、技術系職場での女性活躍と育児休暇の男性取得率向上へ向け、職場環境を整備していきます。



## 国籍 (外国籍社員の活躍)

2024年3月調査

当社は、2006年より外国人採用を積極的に行ってまいりました。今後も継続して活躍してもらえるよう、日々改善を行っております。

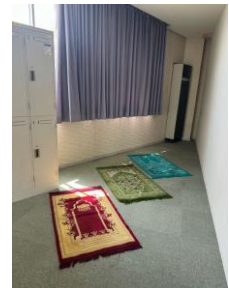
### 2023年度受入れ実績

正社員：3名 (ベトナム・ミャンマー)  
 企業内転勤：3名 (タイ)、2名 (中国)  
 特定技能1号：2名 (中国)  
 インドネシア実習生：6名

### 2023年度 活躍の場

事務管理部門：7名  
 商品開発部門：8名  
 製造部門：22名

(実習生含む)



祈祷室

### 祈祷室

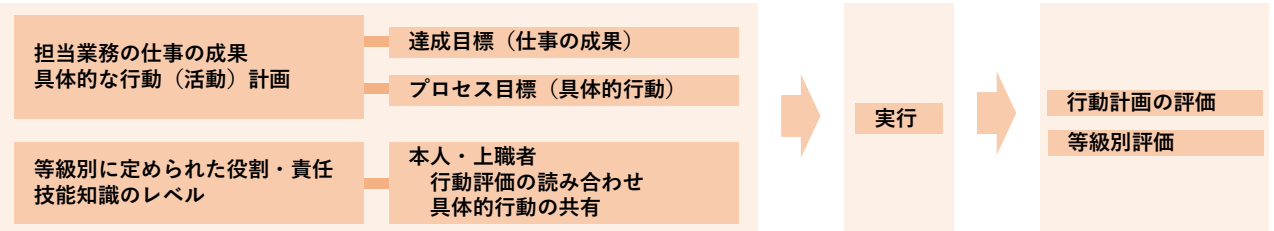
当社は、インドネシアに子会社があります。外国籍社員にとっても安心して働くことができる環境を整えるため、祈祷室を設置しております。インドネシア技能実習生として技能実習を満了後、当社の子会社にて採用した実績もあります。

# 人的資本経営 - 評価 -

(株式会社カネミツ)

## ■ 人事評価制度

- ①社員の組織における役割およびキャリアステップ基準を明確にし、会社の発展と社員の成長に繋げること
  - ②労働生産性と人件費のバランス是正のため、効果的な給与改定を行うこと
  - ③職種特性に応じた考課を実施し、実績・業績・貢献がより反映される給与・賞与支給とすること
- 上記を実現するための人事考課制度を導入しており、組織の目標と個人の目標を統合する事で従業員の成長と組織としての向上を目指しております。



## ■ キャリアパス

当社のキャリアパスは、マネジメントコースとスペシャリストコースの2コースに分かれており、マネジメントコースは、チームを率いるマネジメントを主に行うコースです。広く浅く、幅広い業務ができるゼネラリスト向けのコースです。スペシャリストコースは、主に専門的なスキルを持った人のコースです。特定の秀でたスキルがある、資格を保有する専門家向けのコースになります。年齢・性別・国籍など関係のない公正な評価を行っております。

	マネジメントコース					スペシャリストコース						
	新入社員	リーダー	チームリーダー	グループ長	部長・本部長	執行役員	新入社員	アシスタントチーフ	チーフ	チーフエグゼクティブ	チーフシニアエグゼクティブ	フェロー
求められる能力	基礎知識習得 業務経験を積む ◆積極性、主体性 ◆チームワーク ◆法令遵守及び社内規程の遵守	上司を補佐 ◆リーダーシップ ◆通常業務を一人でこなせる ◆チーム内の課題解決に向けた取組	上司を補佐、チーム内をマネジメント ◆方針展開進捗状況の管理、指示 ◆チーム内の課題解決に向けた取組	グループ内をマネジメント グループ内の責任者 ◆部門方針達成 ◆上長、他部門との調整 ◆経営層のサポート ◆最適な組織化、業務分担	部門・本部の統括責任者 ◆担当部門・本部の経営方針・事業計画の立案・推進 ◆経営層のサポート ◆部門の統率	担当の事業戦略の立案・執行責任者 ◆執行役員方針の立案及び執行 ◆中長期的な業績と成長性の確保	基礎知識習得 業務経験を積む ◆積極性、主体性 ◆チームワーク ◆法令遵守及び社内規程の遵守	上司を補佐 ◆通常業務を一人でこなせる ◆専門資格取得	上司を補佐、チーム内をマネジメント ◆通常業務の課題解決が一人でこなせる ◆他部門との連携ができる	部長を補佐 ◆高い技術力を生かし幅広い業務において問題解決ができる ◆幅広い業務において問題解決ができる ◆後輩への技術指導ができる	部長を補佐 ◆幅広い業務において問題解決ができる ◆後輩への技術指導ができる	部長を補佐 ◆唯一無二の技術を有する
主な業務	担当業務	後輩指導 担当業務	管理・業務改善 企画業務 担当業務	グループ内運営全般 業務改善	部門・本部運営全般 業務改善	担当の運営全般 業務改善	担当業務	後輩指導 担当業務の専門性を習得	後輩指導 担当業務範囲の高度化に貢献	グループ内業務の高度化に貢献 業務改善	部門・本部運営全般の高度化に貢献 業務改善	技術伝承推進 業務改善

## ■ 社長表彰・本部長表彰

社長表彰は年に一度、本部長表彰は年に二度、表彰対象選考会を実施しており、表彰対象となった社員へ表彰盾と記念品を贈呈しております。

- 対象：業務上、業績向上または能率増進や他の模範となる行動など、とくに功績があった個人、部門または部署

### 表彰までの流れ

- ①執行役員または本部長により、対象に値するものがある場合は推薦
- ②選考会の実施、表彰対象者決定
- ③対象者へ表彰盾と記念品の贈呈



表彰盾一例



記念品一例

# 人的資本経営 - 採用活動 -

(株式会社カネミツ)

## ■新卒採用

当社では、ダイバーシティ経営を推進しているため、年齢・性別・国籍などに関わりなく、採用活動を行っております。  
2023年度の採用活動（2025卒対象）は、下記の選考スケジュールにて活動を実施しました。また2023年度は、ナビ媒体が開催している合同説明会へのブース出展を行いました。広報活動の一環でもあり、知名度向上を目指します。

### ■2023年度選考スケジュール（対象者：大学を2025年に卒業する見込みの学生）



★高校生採用は、別途ハローワークのルールに基づき、採用活動を実施しております。

### ■2023年度 大学生対象合同説明会へのブース出展

	開催日	開催地
2023年	11月17日・18日	大阪
	11月25日	神戸
2024年	3月4日	姫路
	3月7日	高松

### ■2023年度 高校生対象イベントの出展

	開催日	開催地
2023年	5月24日	兵庫
	10月24日	
	12月12日	
2024年	3月6日	兵庫
	3月15日	



### ■2023年度 大学での技術紹介

	開催日	開催地
2024年	1月19日	長崎

新卒採用では、高校生採用と大学生採用を主に行っております。ミスマッチ防止のため、入社前の会社説明会開催だけでなく、希望があれば随時工場見学を実施しております。また、入社後は新入社員研修を設けており、3日間の各部署のレクチャーを受けた後、3か月間の巡回研修を実施しております。その中で適正部署を見極め、その部署で1か月間の仮配属後、正式配属となります。また、社会人としての基礎知識を学ぶWEBセミナーの受講や、外部研修も設けております。入社後1年間は、ジョブアドバイザーと共に仕事を行い、成長する体制を整備しております。

### ■新卒採用者数

		2021年度	2022年度	2023年度
合計	男性	2人	1人	1人
	女性	4人	2人	2人
大卒 修士以上	男性	1人	1人	1人
	女性	1人	0人	1人
短大・専門		0人	0人	0人
高卒・ほか		4人	2人	1人



2023年度、外国籍社員3名が入社しました。  
(2名：就業経験なし)  
今後もグローバルな採用活動を継続していきます。

## ■キャリア採用

当社ではキャリア採用も継続的に実施しております。主に人材紹介会社経由での採用活動をしており、入社前には相互理解を深める面接を行っております。最終面接では社長も面接官となり、一人ひとりと向き合っております。

入社後は新卒採用と同様に、各部署のレクチャーの場を設け、工場見学を行う中で当社の理解を深めてもらいます。また業務に必要なセミナーを受講し、更なる活躍を目指してもらおう環境づくりを整備しております。

# 人的資本経営 - キャリア形成の制度・研修制度 -

(株式会社カネミツ)

## 自己啓発支援規程

通信教育受講や各種国家資格試験受講、外国語教室・各種専門学校通学などについて、従業員から受講および通学の申し出があった場合、会社が認められたものについてはその所要費用の一部を会社が負担する制度です。この規程を利用して、様々な部門から各種資格の取得者が出ております。

## 社内勉強会

外部派遣講師や顧問弁護士を講師に様々な分野の勉強会を開催しております。社会の動きに適応し続けることができる会社となるため、また社員への勉強の機会を持ち続けるため、今後も継続して開催してまいります。

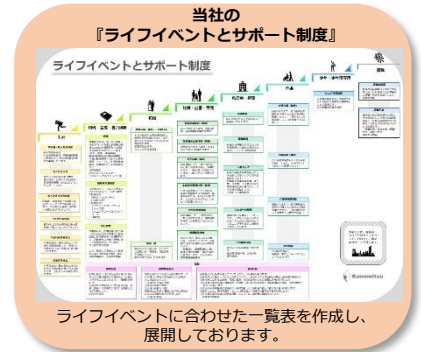
- 【勉強会の例】
- ・ 法務勉強会（管理職対象/法律など）
  - ・ 社内勉強会（次世代ワークショップ/商品開発部業務改革PJ/購買ワークショップ）
  - ・ 経済学勉強会、企業研究会（若手社員中心/経済学やファイナンスなど）
  - ・ 働き方改革関連の勉強会（管理職対象/WLB・女性活躍・LGBTQ+などテーマを都度検討）

## 社外教育訓練・セミナー

今後の自分のキャリアに向き合うため、入社2年目の社員はキャリアアップに関する外部セミナーを受講し、その内容を踏まえて実際にキャリアプランを作成しております。これにより若手のうちから目標（なりたい姿）を持ち、働いております。

## 資格取得報奨・手当支給規程

会社が必要とする資格を取得した際に、受験料や受験に伴う交通費、テキストなど資格取得に必要な経費が負担される制度です。会社の管理や技術、技能の水準向上をはかることを目的としております。2023年度はIT資格手当を追加いたしました。



## 職務発明制度

社員が特許を受ける技術を発明した際、その技術を発明した社員に対し報奨金および対価が支給される制度です。これにより発明の促進、研究意欲の向上、そして研究成果の活用を図り、より一層の技術力向上に貢献する制度です。

## グローバルスタッフ制度

グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を目的として、グローバルスタッフ制度を設けております。外部研修および通信講座を受講して、定められた認定基準と社内試験に合格した者がジュニアグローバルスタッフに認定されます。その後海外拠点に1年以上勤務し、語学力が認められ、認定基準をクリアした者はグローバルスタッフに認定され、国内・海外拠点間への支援を積極的に行っております。従業員のモチベーションアップおよび連携強化を図っております。

## 日本語検定の取得推進

外国人材活躍、業務の円滑化およびモチベーションアップを目的として、外国人スタッフ・実習生に日本語検定の取得を推進しております。その受講費用、通学費用は会社が全額負担しております。毎年多くの方が日本語検定に合格しております。

## メンター制度

豊富な知識と職業経験を有した社内の先輩（メンター）が後輩（メンティー）に対し、業務上のみならずキャリア形成などを含めた幅広い支援活動を行い、若手社員の離職防止、女性活躍推進に資することを目的に制定されたメンター制度があります。

## キャリアアップ研修制度

若手社員・シニア社員が、自らのキャリアを考える機会を持つことで目標を持って働き、計画的なキャリア形成・能力の発揮ができる職場づくりに繋げるために、キャリアアップ研修制度を導入しております。

## 外国人実習生の受け入れ

当社は「国籍・性別などにとらわれない人材の活用と育成」を基本方針として、中国、インドネシアからの実習生の受け入れに注力しております。「現地法人の設立・成長を通じて現地の工業化に貢献する」というビジョンを描きながら、グローバルな視点で人材の育成に取り組んでおります。

### 外国人実習生の受け入れ

2007年より、中国四川省から年間約10～15名の実習生を受け入れ、プレス技能の修得を目的に、生産・検査などの実務研修を実施しております。また、実習生たちが有意義で楽しい滞在生活を送ることができるように、プレス技能検定合格者のお祝い会、春節パーティー、温泉体験、そして様々な観光などの催しも随時企画しております。

### インドネシア実習生

現地法人の中核を担う人材の育成を視野に、2015年より実習生の受け入れを開始し、プレス技能の修得をはじめ、検査・品質保証・生産・生産管理など3年間の実務研修を実施しております。優秀な人材は帰国後、現地子会社に従業員として入社し、現地での技能向上に貢献しております。

# 人的資本経営 - 制度・働き方 -

(株式会社カネミツ)

## 技能者育成制度

技能者育成制度は、グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材や当社固有技術の伝承を目的とした人材育成制度です。

### 研修の種類

1. 短期【技能スキルUPコース】
2. 長期【テクニカルスタッフコース】  
【ジュニアグローバルスタッフコース】

### 研修期間

- 【技能スキルUPコース】180日未満
- 【テクニカルスタッフコース】1年間、もしくは2年間
- 【ジュニアグローバルスタッフコース】1年間

2012年度より海外子会社の技術スタッフを日本テクニカルセンターで毎年1～2名程度受け入れ、育成しております。

試作開発、金型製作、品質保証などを1～2年間。修了後の技術者は、そのほかの海外子会社の技術トップとしてアジア全域での技術サポートをするなどグローバルに活躍しております。



技能者の実習風景



技能者の報告会風景

## 社内リラックススペース「リラッコア」

本社に社員が使用するリラックススペース「リラッコア」を整備しました。社内でのコミュニケーションと自由な発想を促し、新しい事業創出などイノベーションを起こす場所にできたらという思いから整備いたしました。新しく自由な働き方を提供することで働き方改革を実現していきたいと思っております。

### 用途

- ・気分転換、集中して仕事をするときに使える業務スペースとしての利用
- ・打ち合わせスペースとしての利用
- ・休憩場所としての利用



打ち合わせがしやすいようWEB会議、モニターを常設



リラッコア全体



カウンター席では明石海峡大橋が望め開放的な空間に



ソファー席で社員同士のコミュニケーションを円滑化



# 人的資本経営 - 働き方 -

(株式会社カネミツ)

## フリーアドレス

2022年9月、フリーアドレスを本社にて導入しました。新型コロナウイルス感染症拡大により、在宅勤務など働き方の多様化が一層加速しました。

### フリーアドレスとは

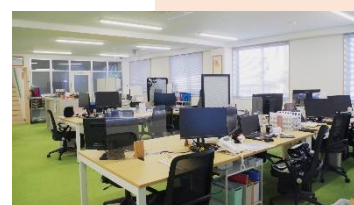
固定席を持たず、ノートパソコンを利用して好きな席で働くワークスタイルのことです。在宅勤務など、その日座席にいない人のスペースを有効活用できます。

### フリーアドレス導入の現状

デスクを集約したことにより、交流があまりなかった人と席が近くなり、コミュニケーションが生まれました。また、これまでは固定席があったため、片付けに対する意識低下の問題がありましたが、固定席がなくなったことにより、共同で使用するという意識に切り替わり、オフィスを快適にかつ効率的に使用できるようになりました。

### ロッカールーム

部屋を集約し、空いた部屋に個人ロッカールームを設けました。社内用の鞆を配布し、オフィス内には私物があまりない状態を保つことができました。貴重品の管理徹底にも繋がっております。



本社フリーアドレス



ロッカールーム

## Teams導入

2022年度、『Microsoft Teams』を導入しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、WEB会議が定着し、メインに使用する社内会議ツールを導入しました。新たな社内コミュニケーションツールを設けたことで、2023年度も生産効率向上に繋がりました。

### 用途

- ・WEB会議
- ・チャット機能
- ・カレンダー機能



## 制服改善トライ

働き方の多様化に合わせた、服装の改善を行っております。現在は改善トライ期間ですが、社員へのアンケートや実施結果に合わせて、導入を決定したいと思います。

### 目的

- ・制服/作業着だけではない選択肢を増やすことで多様な社員の働きやすい職場環境の実現を目指すため
- ・LGBTQ+観点での優秀な社員の採用機会損失防止のため
- ・個々の体感温度が異なるため
- ・節電でエアコンの設定温度にも範囲があるため



# 人的資本経営 - 働き方 -

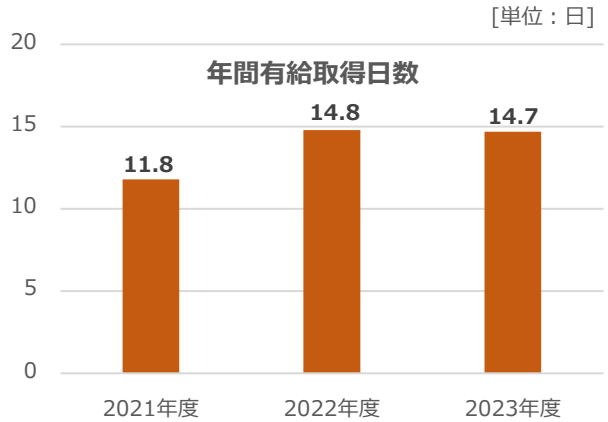
(株式会社カネミツ)

## ワーク・ライフ・インテグレーション

### ライフイベントにあった制度を考え 従業員を取り巻く環境整備に取り組んでおります

ワーク・ライフ・インテグレーションとは、仕事とプライベート双方を統合し両方の充実を求め、メンタルヘルス対策や生産効率の向上を目指すものです。

従業員のワーク・ライフ・インテグレーションの実現に向け、年間117日ある有給休暇に加え、出産や子育て、家族の介護などライフイベントにあった制度の充実に取り組んでおります。また、カネミツではお子様の通院や看病、学校行事への参加がしやすいよう1時間ごとの有給休暇制度などを設けております。また、コロナ禍で進んだテレワークを機に、より多様な働き方を推進していきます。



## 休暇制度

カネミツでは、従業員がライフイベントにあった制度を利用することで、仕事とプライベートの両立を支援し心身ともにリフレッシュできるように、各種の休暇制度を設けております。

休暇の種類	内容
誕生日休暇	自分の誕生日当日またはその前後に休暇を取ることができます。
記念日休暇	結婚記念日、子どもの誕生日など、社員1人ひとりにとっての記念日に1日休暇を取得できます。
産前産後休暇	産前：6週間以内の休暇を取得できます。 産後：8週間の休暇を取得できます。
育児休業制度	育児のために休業することを希望する従業員は原則1年間の育児休業をすることができます。※育児休業の延長も、指定の条件を満たした場合可能
子どもの看護休暇	小学校就学始期に達するまでの子を養育する従業員は、年次有給休暇とは別に1年につき5回取得することができます。(2人以上の場合1年につき10日が限度)
介護休業制度	要介護状態にある家族を介護する従業員は介護休業をすることができます。
時間有給休暇	始業から：1時間・2時間・3時間 終業まで：1時間・2時間・3時間 上記の時間で1時間～3時間の有給休暇を取ることができます。
生理休暇	生理日の就業が著しく困難な場合所要時間または日数の休暇を取得できます。
傷病休暇	正社員が負傷・傷病にかかった場合、医師が必要と認めた場合治療に専念する無給休暇を取得できます。
永年勤続休暇	30年勤務：連続3日 20年勤務：連続2日
慶弔休暇	本人の結婚：連続5日 子どもの結婚：連続2日 配偶者の出産：2日

# 人的資本経営 - 働き方 -

(株式会社カネミツ)

## ベネフィット・ステーション加入

2023年11月、ベネフィット・ステーションに加入いたしました。これにより、全従業員とその家族が140万件を超える福利厚生サービスが利用できるようになりました。

### ベネフィット・ステーションとは

ベネフィット・ステーションは、従業員満足度を向上し、健康経営やスキルアップを促進する総合型福利厚生サービスです。

グルメ・レジャー・ショッピング・スポーツ・旅だけでなくeラーニングなどの学習コンテンツ、育児・介護・健康・引っ越しなどライフイベントに関わるものまで、140万件と幅広いメニューを取りそろえているサービスです。



## あかし子育て応援企業認定

2023年11月24日、明石市が施策している『あかし子育て応援企業』に認定されました。

社有車を使用した地域のこどもの安全見守りや子育てしやすい職場環境づくりを推進しております。産前産後休暇や育児休暇に加え子どもの看護休暇などの休暇制度も取り入れております。また、男性の育児休暇取得の推進にも力を入れております。



## 健康優良法人認定

2023年3月8日、「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」に認定されました。経済産業省と日本健康会議が共同で選定する認定制度です。

健康経営優良法人制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

当社は、「安全・健康はすべてのキホン!!」をスローガンに、今後も「多様な人材が、働きがい・働きやすさを感じられる環境づくり」を目指して健康経営にまい進してまいります。



## 読売テレビ BEAT~時代の鼓動~出演

読売テレビで毎週放送されている、『BEAT~時代の鼓動~』に社長以下多くの社員が出演いたしました。

2024年3月17日（日）に放送されました。今後も従業員エンゲージメントを高めることを目的の一つとして、広報活動を積極的に行ってまいります。



# 人的資本経営 - 働き方 -

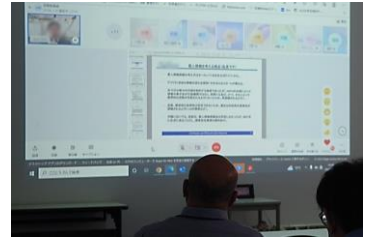
(株式会社カネミツ)

## 法務勉強会

年4回管理職対象の勉強会を行っております。企業法務等に関する知識やスキルを向上させることを目的としております。新たな法律の施行などにも対応できるよう、日常業務で必要となる法律の知識や判断力を身につけております。

### 2023年度実績

- 5月18日（木）：公益通報者保護法
- 8月24日（木）：インサイダー取引規制
- 11月30日（木）：独占禁止法・下請法
- 2月15日（木）：ハラスメント



## 内部通報制度

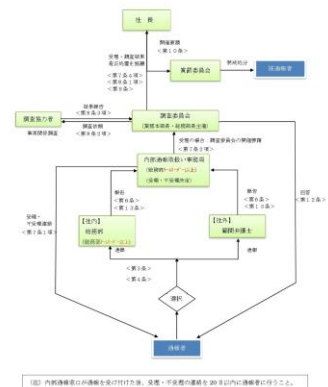
会社の内部通報に関する制度を設けることにより、会社の業務運営に関する違法、不正または不当な行為の早期発見および是正を図り、会社の社会的信頼の維持および業務運営の公正性の確保に資することを目的としております。

### 従業員へ開示している事項

- ・内部通報規程
- ・内部通報書
- ・内部通報対応結果報告書



ポスター掲示



内部通報 フロー図

## LGBTQ+勉強会

2023年9月、LGBTQ+の理解促進を図る説明会を実施しました。2021年度に初めての説明会を実施して以降、3回目の開催となります。

### LGBTQ+とは

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉「LGBT」に「LGBT」以外の分類できない性別を含むことを表す「Q+」が追加された言葉です。

### 理解促進に向けた活動

- 2021年12月：外部講師を招いた講習会 対象者：管理職
- 2022年 6月：LGBTQ+に対する理解を深めるための研修動画 対象者：全社員
- 2023年 9月：外部講師を招いた講習会 対象者：管理職



講師を招いた説明会実施

## 従業員満足度調査

当社は、従業員満足度調査を実施しております。2025年度までに従業員満足度を51%にすることを目標としております。

従業員満足度(ES)  
2023年度 46% ➔ 2025年度 51%

# 人的資本経営 - 女性活躍 -

(株式会社カネミツ)

当社は、多くの女性が働いております。  
女性活躍に関する制度の整備を進め、女性にとっても働きやすい職場となるよう活動を続けております。

## 時短勤務・時差出勤制度

小学校5年生までの子供を養育している従業員が利用できる制度です。

- ・時短勤務制度：1日の労働時間を短縮できます。  
(例) 8時間勤務⇔7時間勤務
- ・時差出勤制度：始業時間および終業時間をずらすことができます。

## 産前産後の面談制度

妊娠判明～復職1ヶ月後迄、これからの働き方について上司と何度か面談する制度です。仕事と育児の両立についての相談など、不安に思うことを事前に相談する事で復職時の不安を少しでも解消し、これからも働き続けてもらえるようサポートをしております。

## 復職者向け研修制度

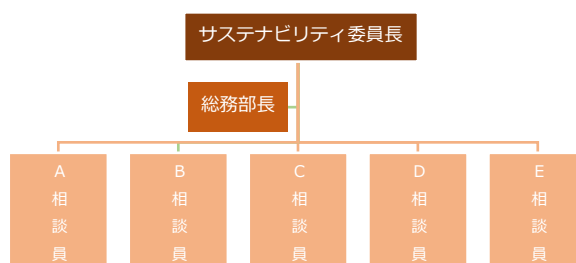
復職の際の不安減少のため、本人が希望するセミナーなどへ参加する制度です。自分と同じように復職を目指している人の話を聞いたり、セミナーを通して学習することで、復職に向けた準備に役立てます。  
また復職に欠かせないのは、上司からの理解です。休暇を取った社員に対して正しい対応ができるよう、部門長以上を対象に年に1回社内勉強会を開催しております。女性活躍に関することや介護に関することなど、知識を持った上司が職場復帰のサポートをしております。

## 積み立て有給休暇制度

使わずに余った有給休暇が積み立てられる制度です。有給より先に積み立て分が使える為、復職後の急な子供の病気の看護のための休み等に利用できます。

## ハラスメント相談員

職場におけるハラスメントの防止に関する対策規程に基づき、ハラスメント相談員を配置しております。自分で解決しようとするのではなく、速やかに会社の相談員や上司に相談するよう社内の発行媒体を通して周知を図っております。



## あかし子育て応援企業の認定

2023年11月24日、明石市が施策している『あかし子育て応援企業』に認定されました。社有車を使用した地域のこどもの安全見守りや子育てしやすい職場環境づくりを推進しております。産前産後休暇や育児休暇に加え子どもの看護休暇などの休暇制度も取り入れております。また、男性の育児休暇取得の推進にも力を入れております。

## 次世代リーダー講座

2023年度、兵庫県内6社連携講座「女性リーダー・キャリアアップ勉強会」に当社より5名参加しました。また、「女性リーダーのためのビジネス・カレッジ」にも当社より1名参加しました。

# 人事データ (2024年3月31日実績)

(株式会社カネミツ)

## 従業員数

		2021年度	2022年度	2023年度
単体従業員数	合計	231人	231人	229人
	男性	181人	179人	175人
	女性	50人	52人	54人
連結従業員数		613人	607人	596人

## 新卒採用者数

		2021年度	2022年度	2023年度
合計	男性	2人	1人	1人
	女性	4人	2人	2人
大卒 修士以上	男性	1人	1人	1人
	女性	1人	0人	1人
短大・専門		0人	0人	0人
高卒・ほか		4人	2人	1人

## 従業員の構成

		2021年度	2022年度	2023年度
平均年齢	男性	41.2歳	42.0歳	43.1歳
	女性	35.7歳	35.8歳	36.1歳
平均勤続年数	男性	16.1年	17.0年	17.1年
	女性	10.0年	10.1年	11.1年

## 労働時間

	2021年度	2022年度	2023年度
一人あたりの 年間就労労働時間	2,586時間	2,552時間	2,564時間
一人あたりの 所定外労働時間	287時間	281時間	270時間

## 給与水準

		2021年度	2022年度	2023年度
初任給	高卒事務	164,000円	168,000円	177,000円
	高卒技能	164,000円	168,000円	177,000円
	高専	178,000円	182,000円	191,000円
	短大	178,000円	182,000円	191,000円
	大卒	199,000円	203,000円	212,000円
	院卒(修士)	202,200円	206,200円	215,200円

## 社員持株会

	2021年度	2022年度	2023年度
社員持株会会員数	118人	111人	108人
入会率	50.6%	48.7%	48.0%
保有株数	424,060株	427,260株	394,160株

## 災害発生頻度

	2021年度	2022年度	2023年度
全社	0件	0件	0件

## 地域社会への取り組み

(株式会社カネミツ)

当社が拠点を置く、兵庫県、長崎県において地域の発展に貢献できるよう取り組みを行っております。今後も地域交流や社会貢献を通じて、社会から期待される企業を目指しております。

### 近隣の学生の工場見学等



2024年1月19日 工場見学

地域貢献、学生の将来を考えるきっかけづくりのため工場見学やインターンシップなどの受け入れを行っております。工場見学では、一枚の鉄板から製品ができるまでの一連の工程を見学いただき、当社のものでづくりのこだわりを説明しております。

#### ■ 2023年度実績 ■

茂木中学校（職業体験学習）：2023年9月13日～15日

茂木中学校（工場見学）：2024年1月19日

### ドクターヘリ離着陸場の提供



ドクターヘリ離着陸の様子



長崎工場外観

地域住民の皆様の安全、安心な暮らしへの社会貢献の一環として、長崎工場の敷地の一部を長崎市のドクターヘリの緊急離着陸場として提供しております。

ドクターヘリのメリットは、地上の地形や交通事情にかかわらず、飛行することができる点です。長崎市内から車で30分かかるところがドクターヘリでは6分で来ることが可能となります。

### 騒音測定



生産ライン前の騒音測定の様子



工場外の騒音測定の様子

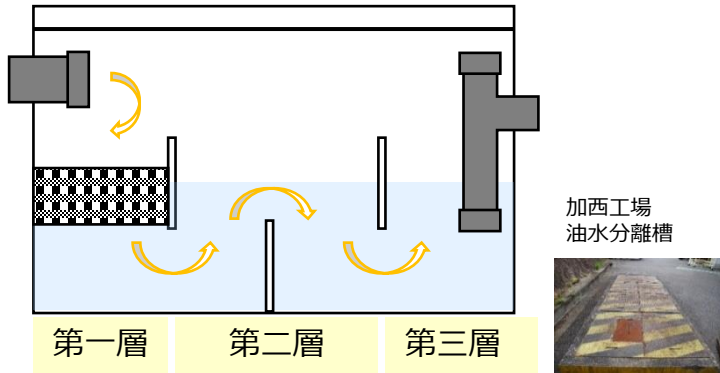
当社の騒音の主な発生源は、製造工程での製造機械から出る加工音です。定期的に、当社の従業員が工場内外の騒音を測定しております。基準を超える場合には、速やかに対策を講じております。また、新しく建屋、生産ラインを設置する際には騒音を最小限にするような仕様、レイアウトを心がけております。

2023年度は、環境事故または環境法令違反による罰金、措置命令などを受けた事案はありません。

# 地域社会への取り組み

(株式会社カネミツ)

## 油水分離槽設置による油流出対策



## 緊急事態対応訓練記録簿例



No.	項目	頻度	作業内容
1	槽内点検	1回/1週間程度	油、汚物など異常な浮遊および油などが流れていない事を確認。また、オイルマットの浮遊状態を確認する。 * 3槽まで油が流出している場合は、浮遊している油の除去とオイルマットの総入れ替えを実施する事。
2	オイルマット交換	チェックシートによる	1槽：油の浮遊が酷い時、または沈んでいる時は交換する。 なお、3槽へ油が流出している時も交換する。 2槽：油の浮遊が酷い時、または沈んでいる時は交換する。 なお、3槽へ油が流出している時も交換する。 3槽：沈んでいる時交換する。

槽内清掃は、1槽目の沈殿物が、槽内の半分を超えた時に実施すること。  
※異常発生時は、緊急事態対応手順書によるものとするが、必ず槽内の一斉清掃を実施する事。

製造過程での加工油は下水道に排水しておりません。工場内での油の流出後対策として、油水分離槽を設置しております。  
万一油の流出事故が起きても、工場に設けられた油水分離槽で油を取り除き、工場外に流出させないようにしております。

### 【適用施設】

- 加西工場 1ヶ所
- 三木工場 3ヶ所
- 長崎工場・リサーチセンター 2ヶ所

## 長崎県茂木地区 清掃ボランティア



ボランティア活動前の様子



ボランティア活動中の様子

長崎工場周辺にて、地域の皆様と清掃活動等の地域ボランティア活動に参加しております。

参加日：2023年6月15日（木）

## 兵庫県明石市 明石公園植栽活動



カネミツの名前が入った看板を設置



植栽活動の様子

公益財団法人兵庫園芸・公園協会明石公園と協働で植栽活動を続けております。  
明石公園正面入り口の花壇には、夏の花・冬の花を社員やその家族で植栽しておりますので、お近くにお越しの際は是非ご覧ください。

実施日：2023年5月27日（土）  
2023年7月15日（土）  
2023年12月2日（土）



# 地域社会への取り組み

(株式会社カネミツ)

## Instagram運営



2021年12月にオフィシャルアカウントを開設して以来、週1回のInstagram投稿を継続しております。(当社休業日を除く)

ホームページではお届けしていないような当社の日常を掲載しております。

今後も掲載を行いますので、お時間ある際には是非ご覧ください。

## 兵庫県明石市イベントへの参加



大蔵海岸マラソン集合写真



ビーチスポーツフェスタ集合写真

2023年度、本社のある兵庫県明石市にて開催されている地域イベントに、当社の従業員が参加しました。(自由参加)

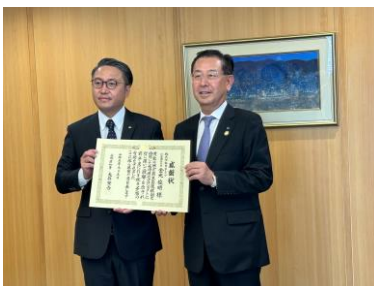
拠点のある地域の活性化に貢献していきたいと考えております。

2023年4月16日(日) : 大蔵海岸マラソン  
2023年9月23日(土) : ビーチスポーツフェスタ

## 寄附



2022年度 大石長崎県知事より感謝状



2023年度 大石長崎県知事より感謝状

当社は持続可能な社会に貢献し続ける企業を目指し、毎年、下記へ寄附等を行っております。地域との共存共栄のため、社会貢献活動を積極的に取り組みます。

- ・長崎県企業版ふるさと納税
- ・長崎市企業版ふるさと納税
- ・長崎地区保護司会
- ・公益社団法人ひょうご被害者支援センター

# 安全衛生

(株式会社カネミツ)

## 安全衛生管理組織図



当社は、安全衛生管理について必要な事項を定め、労働災害および疾病の防止を図るとともに、快適な職場環境の形成に資することを目的として、安全衛生管理規程など複数の規程や対策を設けております。

- 安全衛生管理規程
- 労働災害発生措置要領
- 災害発生時の緊急ルート
- 労働災害発生報告
- 安全作業動作確認手順
- 遵守禁忌事項一覧表



年2回、社内報『カネミツニュース』を発行しております。毎年4月度発行分には、安全衛生委員長から社員へ、安全衛生に関するメッセージを発信しております。



2023年度カネミツニュース

# コーポレートガバナンス

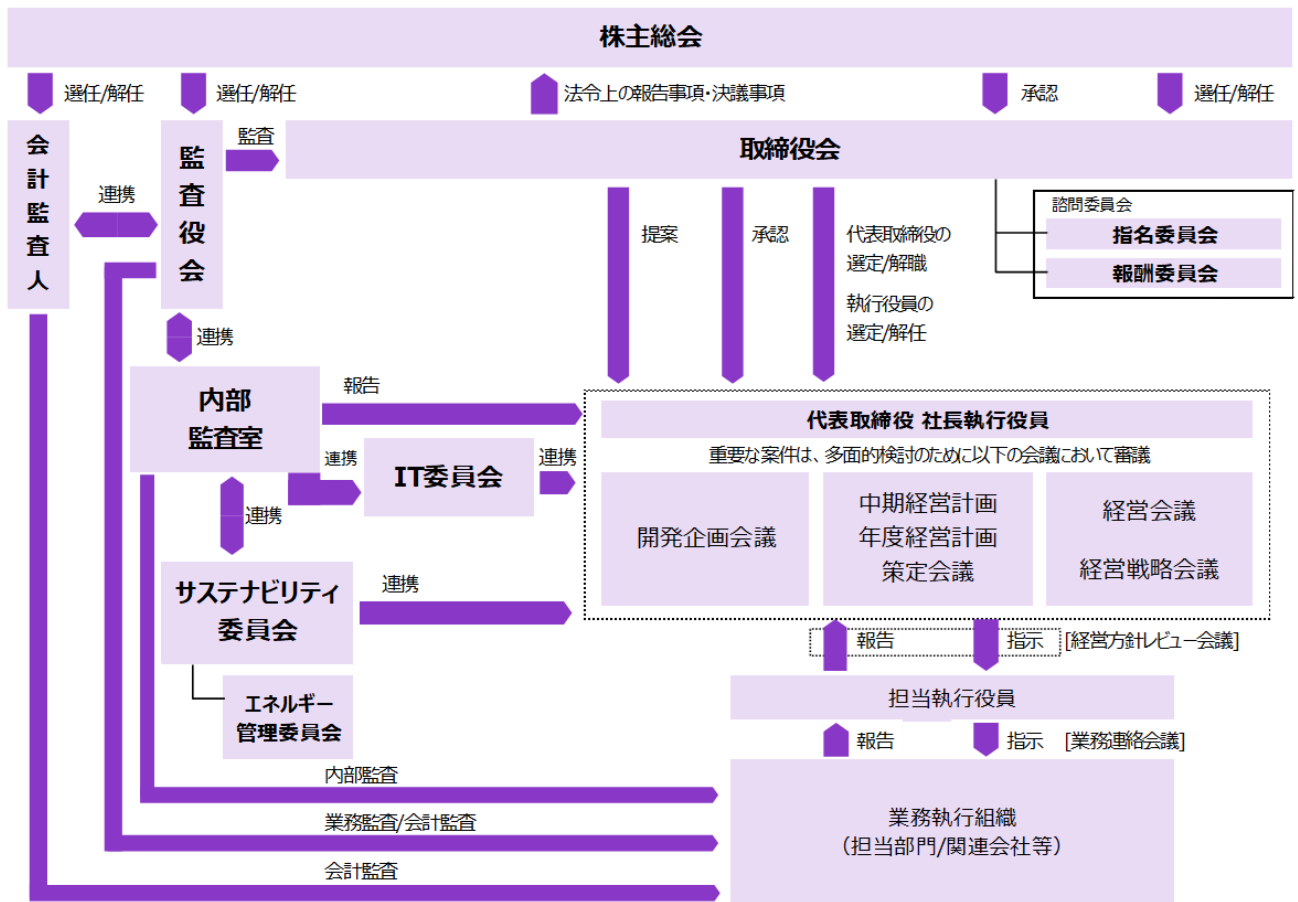
(株式会社カネミツ)

## コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す カネミツはOnly-One技術で安全と環境に貢献する」の経営理念に基づき、広く社会にとって有用な存在であり続けたいと考えております。そして、この経営理念の実践を通じ持続的に企業価値を高め、株主様を含むすべてのステークホルダーとの信頼関係を築くことが重要と考えております。

こうした考えのもと経営の効率性の向上、健全性の維持、透明性の確保に努め、経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築するとともに、経営の監督機能の強化や情報の適時開示に取り組み、コーポレートガバナンスの充実化を進めてまいります。

## 体制図



## 利益相反の回避

当社は、役員や主要株主などの関連当事者間の取引にあたっては、他の取引先の場合と同様に、会社および株主共同の利益を害することが無いよう、経済合理性を十分検討したうえで、取引を行っております。当社と取締役および執行役員との競業取引および利益相反取引については、取締役会での事前の承認および四半期に一度報告を要する旨、取締役会規程で定めております。

# コーポレートガバナンス

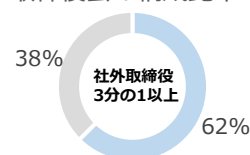
(株式会社カネミツ)

## 取締役会

経営上の重要事項決定機関である取締役会は、2023年度時点、取締役8名（うち3名は社外取締役）で構成し、法令および定款に定められた事項並びに業務執行に関する重要な事項を報告・審議・決議いたします。

取締役会は原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

取締役会の構成比率



## 経営会議、経営戦略会議および開発企画会議

経営の意思決定の迅速化を図るため、重要事項については事前に経営会議を、経営戦略については経営戦略会議を、新商品の開発投資については開発企画会議を開催しております。

## 任意の委員会設置について

報酬および指名の独立性、客観性を確保するために取締役会の任意の諮問機関として、カネミツでは指名委員会と報酬委員会を設けております。それぞれ社内取締役1名、社外取締役2名で構成し、社外取締役を3分の2以上確保することとしております。

指名委員会

報酬委員会

## 指名委員会

指名委員会は、下記事項について当該候補者の経歴、人格、知見やその責務にふさわしい人物か否かを審議したうえで取締役会に助言・提言することとしております。

- ・取締役、監査役の選任および解任に関する株主総会議案
- ・代表取締役の選定および解職
- ・その他重要な人事異動

## 報酬委員会

取締役・執行役員の報酬内容に係る事項を審議したうえで取締役会に報告することとしております。



# 企業行動憲章

(株式会社カネミツ)

私たちは、経営理念、目指す企業像のもと、企業としての社会的責任（CSR）を果たすため、次の7つの原則に基づき、取引先、従業員、株主様、投資家、そして地域社会などのステークホルダーに対して、人権を尊重し、社会良識をもって行動します。

## 1. 安全で高品質な商品を提供します。

私たちは、優れた技術力と確かな経験のもとに、安全で高品質な製品を取引先、消費者に提供します。

## 2. 公正、透明、自由な競争を行います。

私たちは、商品の販売において、公正で自由な競争を行います。

## 3. 協力会社に対し、優越的な地位を濫用しません。

私たちは、協力会社との取引において、優越的な地位を利用した不当な取引は行いません。

## 4. 企業情報を適宜、適切に開示し、秘密情報を厳正に管理します。

私たちは、ステークホルダーに対し、適切に企業情報を提供します。

また、取引先、自社などの機密情報、個人情報漏洩することのないよう厳正な情報管理を行います。

## 5. 職場の安全確保に積極的に取り組みます。

私たちは、社員の安全確保を重要課題と認識し労働災害の防止に努めます。

異常や危険の兆候が発見された時は、直ちに最善の安全措置を講じます。

## 6. 安心で働きやすい職場環境の形成に努めます。

私たちは、事業を行う各国・各地域の法令や文化、そして習慣に則り、社員の権利を尊重した労働条件の整備を進め、安心して働ける職場環境の形成に努めます。また、国籍・性別を問わず社員の多様性と個性を認識し、能力を十分に発揮できる職場づくりと人材育成に積極的に努めます。

## 7. 反社会的勢力に利益供与は行いません。

私たちは、社会の秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的な勢力に対して、経済的な利益を供与しません。

なお、役員および役職者は、当企業行動憲章を率先垂範の上、関係者に周知徹底します。

万一、当企業行動憲章に違反する事案が生じた時は、会社を挙げて問題の解決に当たり、原因の究明、再発の防止に努めます。さらに、生じた事案について、社内外に対し、迅速かつ確かな情報公開を行い、その説明責任を果たすとともに、関係社員を厳正に処分します。

2011年4月 制定

2017年9月 改定



カネミツグループ社員ハンドブックを通じて、社員に周知されております。カネミツグループ企業行動憲章や行動規範に反する行為を行っている場合、あるいは違反が疑われる場合は、速やかに上司あるいは会社・職場の窓口担当に通報、相談することとしております。

# 従業員行動規範とCSR

(株式会社カネミツ)

## 従業員行動規範

### 基本理念

カネミツグループ全ての役員および従業員（正社員、契約社員、派遣社員を含む）は、業務遂行にあたり諸法規、国際的取決めおよび社内諸規程を遵守するとともに、ビジネスマナーならびに下記の遵守事項を守り、社会的規範に沿った責任ある行動をとる。

### 遵守事項

1. 人権を尊重し、差別・ハラスメントを行わない。
2. 環境に関する条約・法令等を遵守し、地球環境に配慮した活動を行う。
3. 業務遂行にあたっては、法令を遵守し、公正を旨とする。
4. 貿易に対する国際的な取決めを遵守する。
5. 会社の情報を適切に管理することはもちろん、社外から得た情報や第三者の知的財産権等の権利についても適切に取扱う。
6. 株式等の不公正取引(インサイダー取引等)を行わない。
7. 会社の利益に反する行為は行わない。また、公私のけじめをつける。
8. 贈答・接待等は法令に違反することなく、目つ社会通念上妥当な範囲で行う。
9. 反社会的勢力には、毅然として対応し、利益供与は一切行わない。
10. この規範に反するまたは反する恐れのある行為については、これを発見した場合または不注意により自らの行った場合を問わず、速やかに上席、コンプライアンス担当、社内関係部署に報告相談する。

2011年4月 制定

2017年9月 改定

## カネミツのCSR

カネミツ・グループすべての役員および従業員は「カネミツは技術を尊び技術でOnly - Oneを目指す カネミツはOnly - One技術で安全と環境に貢献する」という経営理念に基づき、社会にとって広く有用な存在であり続けるため企業としての社会的責任（CSR）を果たします。

そのために国の内外を問わず、人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、社会良識を持って行動いたします。

当社は経営理念に基づき経営方針を実践し、ステークホルダーの皆様の期待や要望に対応して信頼を得ることで、社会と環境への貢献を継続的に行ってまいります。



# 情報セキュリティ基本方針

(株式会社カネミツ)

カネミツグループは、情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

## 1.経営者の責任

カネミツグループ各社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの維持・改善に努めます。そのため、情報セキュリティ対策を社内の規則として定め運用を徹底します。

## 2.カネミツグループの取り組み

カネミツグループの社員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、「サイバー攻撃、コンピューターウイルス被害、内外部からの不正アクセス、情報漏洩」などへの備えや対策を講じます。

## 3.法令および契約上の要求事項の遵守と違反および事故への対応

カネミツグループは、情報セキュリティに関わる法令等および、契約上の義務を遵守するとともに、法令違反および契約違反、または事故が発生した場合には適切に対処し再発防止に努めます。

2021年11月 制定

## セキュリティ教育実施

昨今、全てのサイバー攻撃を未然に防ぐことが難しくなっております。そのため当社では、新入社員・中途社員・社外要員受け入れ時の集合教育、役職員へはeラーニング、自社/IPAやベンダー等の提供する教育資料の配布・掲示、また標的型攻撃メールやビジネスメール詐欺を想定したメール訓練を適時実施しております。セキュリティ学習の理解度を都度確認し、よりきめ細やかな対応をしており、日頃からセキュリティ対策を社員に呼び掛けております。結果および振返りは経営者レベルで把握し、次年度の訓練・教育に改善点を反映しております。

## 情報処理関連資格の取得推進

IT資格取得により全従業員がITリテラシーを高めるための取り組みを進めております。これにより高度な情報セキュリティのベストプラクティスや技術を習得し、組織全体でセキュリティ意識の向上を目指しております。より強固な情報セキュリティ体制を構築し、サイバー攻撃に対して迅速かつ効果的な備えや対応ができるよう努めております。

## 情報機器の適切な管理

主要サーバー機器の部屋は施錠管理し、情報システム室のみ入室可能となっております。また、通年で温度管理を行っております。

## BCP対策

災害発生時、早急に基幹システムを復旧し、事業継続することができるよう、BCP対策を行っております。今後も課題解決に向けて進めてまいります。

## RPAの導入

人間がコンピューター上で行っている定型作業を、ロボットで自動化することをRPAといいます。

キーボードやマウスなどのパソコン画面操作の自動化、社内システムの代行操作、アプリケーション間のデータの受け渡し、条件分岐設定や適切なエラー処理と自動応答、IDやパスワードなどの自動入力、アプリケーションの起動や終了、スケジュールの設定と自動実行、蓄積されたデータの整理や分析など、様々な作業に組み込んでおります。定型業務をRPAに任せ、人は人にしかできない業務に集中することができるようになり、ヒューマンエラーやミスを削減することに繋がっております。

## 外部機関IT監査の実施

会社法における会計監査の中で実施し、システム全般の中でも財務報告の適正さを会社法のルールに則って監査を行っております。毎年RCM（リスクコントロールマトリクス）によるリスク評価ができ、また専門のIT監査人から最新のIT動向を踏まえた助言を反映し、PDCAを実践しております。



